

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-135)、
廃棄物管理施設(110)、MOX 燃料加工施設(2-90))」

2. 日時: 令和5年12月21日(木) 10時00分~12時10分

3. 場所: 原子力規制庁 10階会議室 (TV 会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他5名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年12月20日の提出資料に基づき、今後の進め方について確認を行った。

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・具体的な設備等の設計の説明における代表設備の設定に係る考え方については、網羅的に説明するために代表とする施設とこれに包含させる施設、代表施設との差分を説明する施設とその差分の内容など、類型の全体像を整理した上で、着実に説明が進められるよう計画を立てる。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html
- ・ 令和5年12月20日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する

る資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	規制庁の二見です。それでは、
0:00:03	原燃のヒライ
0:00:05	もう、
0:00:05	ます。
0:00:06	今日も、令和4年12月26日付で、再処理施設及び廃棄物管理施設の設置、
0:00:14	令和5年2月28日に修正のあったMOX施設の移設工事について、昨日12月20日付の式をもとに、
0:00:24	実施する。
0:00:26	です。
0:00:26	規制庁側の出席者ですが、
0:00:30	ヨコヤマのハバサキアライ方がカミデ。
0:00:36	あとWEBからコサクヤマグチオオハシフジワラます。それでは日本原燃の方から出席者の説明と、議題の説明をお願いします。
0:00:49	はい。
0:00:49	日本原燃事務局の中浜です。
0:00:53	原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:56	Steeringチームより、
0:00:58	ケットク、
0:00:59	ハセガワ、
0:01:01	ノモト、
0:01:02	一井目黒。
0:01:04	高谷。
0:01:05	石原。
0:01:06	あとウェブより、6ヶ所からMOX及び再処理の事務局参加させていただいてございます。
0:01:14	本日まで確認いただきます資料は、先ほどご紹介がありました。
0:01:19	ご提出差し上げました今後の進め方になります。
0:01:23	それでは説明の方よろしく願いいたします。
0:01:26	はい。日本原燃の決得でございます。ちょっと進め方の件の前に昨日のですねヒアリングで少し我々、説明が十分できなかったという反省を踏まえてですね、薄井の方でも、
0:01:39	チームでもですね何が足らなかったのか反省はしてですね
0:01:43	設工認との許可との整合とか、設計の考え方が不十分であったという話はしてるんですけども、ちょっと私自身ですねSteeringの役割というのが十分できてたのかと。

0:01:53	いうのがありまして、昨日勝Steeringメンバーで、タカヤ町でちょっと議論しております。
0:02:00	武マネジメントとしてですね、こういう資料を作るというところはやってるんですけどもやはりできが悪いのにヒアリングを続行させたとあるとか。
0:02:10	十分説明ができてないのにそれを元に向かうような発言で、少し議論がかみ合わなくなってしまう。これ、議論がかみ合うの一番、いけないことですのでその辺のところ、今日のSteering全員集めてですね話しました。
0:02:26	やはり一緒に原燃のSteeringのほとんどが関連からの応援ということで、原燃と一緒にしてしてるうちに、原燃の方を持ってないんですけど沼にはまってしまうと。
0:02:37	ということもありましてその減免することが、こうやっただけの資料を性正しいというちょっと認識に陥ってしまう恐れがありますのでやはりそこ、
0:02:47	ヒアリングはちゃんと、今までの電力の経験を踏まえて、規制庁と、きちりコミュニケーション取るといったところの役割ですのでそこに立ち戻ってやる必要があるから少し、
0:02:58	ST作って半年以上過ぎて実際に例のナカマと一緒にやっていく中で、少しその辺の認識が薄れてきてるのではなかろうかという反省が少しあります。ちょっと、
0:03:09	その辺の内部をどうやっていくか、またどう立て直していくかというのでも継続して考える必要がございますけども、昨日のヒアリングなんかは、まず、ぜひ準備ができていなければ、準備をするのが大前提です。
0:03:22	ですけどもできてなければヒアリングをストップする、もしくは説明をちゃんと途中で止めて、きちり立て直すといったところがSteeringの役割だと認識しておりますので、その辺が十分徹底できてなかったのは私のマネジャー不足だと思いますので、
0:03:36	その辺、立て直してやらないと年明けからのヒアリングも円滑に進まないと思ってます。この辺のところは、地盤のノモトもよく見た傾向にあるという認識をしておりますので、
0:03:47	少しヒアリングの方ももう少し議論を重ねて、改善を図りたいと思います。すいませんちょっと総括的な話を最初にさせていただきましたけども、
0:03:55	そのような反省のもと今後の進め方、どうぞ、説明させていただいて、来年度の、来年の進め方をきちり決めていくといったところにつなげたいと思っております。以上でございます。
0:04:09	規制庁、長田です。冒頭、一般的な形で
0:04:15	発言いただいたんだと理解をします。

0:04:21	ます。
0:04:22	認識いただいているような進めていただいたらと思うんですけど。
0:04:29	何でそういうふうニイヌマにはまっちゃったのかなっていうところですね。
0:04:39	原燃の対応でワー
0:04:43	規制対応として、必要なことが十分できない。
0:04:49	こういうことをやっていかなきゃいけないよっていうのを気づかせるということであったわけで、
0:04:58	そういうし、視点を持つ足りないところをしっかりと認識してもらえるようにするというタスクでルーにもかかわらず、
0:05:08	それができなかったっていうのは何なん。
0:05:11	ですかね。
0:05:14	実はですねこれコイケしてたんですけどこないだからちょっと我々に助けてもらってる四国で経験してるイシカワナカガワと話をすると、もう即答でこれは通らへんど。
0:05:26	いう話をしてく。
0:05:28	軌道修正できるわけなんですね。で、タカヤの場合も当初はそういう感じでやってたんですけどやはり一緒に指示をして資料を作らしてるんですけど一緒に作っていく中でですね。
0:05:40	減免の考えやヤタbasedやデータベースの説明を、何か聞き慣れてくるというか、そういうところがあって本来、それでは駄目だということと一緒に、
0:05:53	作り込む中で、まさに悪い言葉で言うと沼に入ってしまうといったところが見受けられます。そこは適宜ちゃんと我々の認識役割を認識し直して直すということが大事だと思っていつもフィードバックをかけないといけないと、また、
0:06:08	ちょっと1人のSTに頼っているとそういう傾向がございますので、ハセガワ、具体的な案件を持ってないハセガワとかですね、今さっき名前出していさしてもらいますけどイシカワとか、
0:06:21	その辺のメンバーのチェックでは、おかしいこと言っていないかというのを探りながらやらないとうまいこといかないのかなと思ってます。このようにできておりませんので、今後の課題と認識しております。以上です。
0:06:34	コサクです。
0:06:38	実務をやっていく中で思う古藤でいうと、
0:06:45	できる古藤。
0:06:47	に分解をしていって、実際の作業をしなきゃいけないと。

0:06:52	いう時に、できることって何だろうって考えていく等、やらなきゃいけないことっていうところに到達できない。
0:07:01	ままになって、
0:07:02	ちゃったっていうことかなあというふうに、今お聞きして思いました。
0:07:09	確か 2、
0:07:11	指示をするときにできることにしてあげないと。
0:07:16	実際の行動が伴わなくなるので、それはその通りだなと思うんですけど、その際にちゃんと
0:07:26	到達点。
0:07:28	はミウラないようにしっかりと置いてそこにどうプロセスを踏んでいくんだというところを明確にして、やれることと、それがその次にやらなきゃいけないことは何かと。
0:07:41	いうのをクリアにしながらやらないと、そういう名前にはまったり、変なところに行って違う方向に、
0:07:51	ちょっと、
0:07:52	これまでの進め方費やでもや、
0:07:56	も含めて
0:07:57	説明項目の整理ですかね、部分を
0:08:04	若干というか大分資料づくりにはまってしまって、最終的に共通中にどう進めていくんだというところが見失わない、欠けていたと。
0:08:15	いうこともあるんで、その点をしっかりとSteeringチームが意識すると。
0:08:20	ということで対応いただければ、
0:08:26	ご指示、もし
0:08:28	内容を理解しましたのでその辺、
0:08:31	詰めたいと思います。プロセスを明確して出す区で、
0:08:35	アマヤできることをやらなければいけないことをこう変えていくといった活動が、我々ちょっと不足していたと認識しましたので、その点、注力したいと思います。ありがとうございます。
0:08:53	はい。
0:08:54	コサクです。具体に入る前に、
0:08:57	この後お話いただけるんだとは思いつつなんですけど、この間の会合で、ヒアリングチーム
0:09:08	ここができて半年以上たち、説明すべきこととかがっていうのが整理できていたということだから、それをしっかりと今後積み上げてってくださいねとソネにあたっては体制、
0:09:20	しっかりと人をそろえるというようなことで対応いただきたいという話をしている、今日その状況をお聞きできると。

0:09:30	思っているんですけど、
0:09:34	一方で、ステップチームがまだみたいな話になっちゃったので、一体どういうふうに話を聞けばいいのかなっていう気はしているんですけど、そういうところも含めてこれはこの後説明いただけるということで、
0:09:49	日本原燃長谷川です。はい。ちょっと口頭の説明がありますけども、ちょっとそういうの、
0:09:55	ご説明後でした。
0:10:00	はい、わかりました。じゃああの説明よろしくお願いします。
0:10:05	はい。与儀ニシダでございますそれでは昨日付、提出をさせていただきました今後の進め方の資料でございます。
0:10:13	大分全体的に見直しをしましたので特に下線とかを引いておりませんが
0:10:20	まず 2 ポツのところを審査会合でございます。儘田
0:10:27	1 ポツはですね前回の審査会合でのやりとりを踏まえて項目を変えている。
0:10:32	2 ポツの方は、2-1-MOXの説明グループ 2 が具体的に資料をお出しできてませんので、目指したいところということで書かさせていただいてますが、
0:10:43	これも年明け以降の資料提出ヒアリングの状況を踏まえて、何らか考えなきゃいけないもしくはそれをやるためには、ヒアリング、
0:10:53	スケジュール感を見直さなきゃいけないという認識では今おります
0:10:56	はい。3 ポツの 3 ポツ 1 でございますがサンポ 1 の方は
0:11:02	前回のヒライ以前のヒアリングでもありました共通 2 の、前段階としていろいろ早速を立ち上げてやってきたんですが、若干タスクごとの資料作成に、意識が偏り過ぎて本来の
0:11:15	共通 12 を作るということに、考えが
0:11:20	及ばず発散してしまってるので、一旦ここで共通ルールを作成するというフェーズに移行したいと思っております。
0:11:27	とはいえ、説明グループにコウノ、説明グループの設定、舞台のところの展開ですとか、あとは昨日ありました一斉なんかの設計項目の整理等と具体の個別案件での設計の整理と、
0:11:41	いったもの、あとはSA側の整理もですね継続してやる必要があるものは、タスクとして認定しながら、まだスケジュールに落としながらまだ本文に書いてないところは、
0:11:51	すいません今後、整理をして具体化していければと思っております。
0:11:57	はい。

0:11:58	再処理廃棄物の説明グループ1アマン1ポツの下に書いてある通り1月末を目途に反映していく。今日出しをしている別添2の代表の話も含めて、
0:12:11	全体ブラッシュアップ整理をしていきたいと思ってます。
0:12:15	あと2ページ目も複数の説明グループには今1月通常を目途に資料作成を順次やっております。はい。可能であれば、前倒しも含めて考えるということかと思ってます。はい。
0:12:29	あと2-2の方は本日資料提出をさせていただいて、年末通で恐縮ですが、26日にヒアリングをさせていただいて、
0:12:39	いろいろ踏まえて年明けまた資料提出ヒアリングということを重ねさせていただきたいと思ってます。
0:12:45	また2-2野瀬0.の二つ目に書いてますが、最初の評価の項目の抽出とかですね、一連目次とあわせて、資料提出を
0:12:56	させていただこうと思ってますのでそういったところで、連携をとりながら全体枠、大枠をちゃんと示していけるようにしていきたいと思ってます。
0:13:06	3ポツに耐震関係のご説明でございます。
0:13:10	えっとですね前回の会合での最後今後の実施事項ということで①②③④という形でのご提示
0:13:22	といたしますか、資料を整理させていただきましたけども、その①②③④のステップに従ってちょっとここからですね、どこまでをいつまでやるのかと。
0:13:32	みたいなのがそういう意味といたしますか、我々のオクがちゃんと整理した形でちょっとお示しなきゃいけないというのは前回宿題でいただいたんだというふうに思ってございます。
0:13:43	ですねこの黒丸の一つ目のところ、
0:13:54	Aという
0:13:56	認めして谷本
0:13:58	専門家の方々の意見を踏まえてやっていく
0:14:03	これあげないといけないということでここに対して、
0:14:07	アノドイ
0:14:07	が残って
0:14:12	こういうふうなところをですね、まずやっていくと、それをやりつつですね、少し作業が進んだところで③の方向性を、
0:14:23	にらみながらやっていくということなんですけれども、具体的なですね資料の提出なり、検討を進めるマイルストーンでございますけれども、

0:14:34	それがですね 2 ページ目の下の資料提出ヒアリングのスケジュールのところで記載してございますけれども、具体的なテーマの 08 基、これを軸にして、ご提示していくことになるというふうに考えてございます。
0:14:46	上で書いてございますこのですね、この敷地地盤の特徴をとらえた地下構造を整理するに当たって、すいません。の整理をですね、
0:15:00	大きな話としては、この全グループの我々の検討結果というのは、最終、1 月 18 日の耐震建物 08 期にご提出する必要があると思っております。
0:15:14	すみません誤記あって申し訳ないですけど 3 ページ目。
0:15:19	1 月その日範囲講座。
0:15:22	③の方向性これもですねこの段階での
0:15:26	進路状況を踏まえた、3 の見通し。
0:15:29	いうところも、ここはご提示する必要があるかというふうに考えてございますそれで、
0:15:35	9 月 18 日口セス 02
0:15:37	イトウ、少しそこまでですねオオキthe呉といいますか、方向性を議論させていただきながらやる必要があるという認識をもとにちょっと戻りまして 2 ページ目の、
0:15:49	一番下のところでございますけれども、主にですね、岩盤部減衰につきまして、結果が出るところもちろん結果がしますデータワダシマ
0:15:59	とですね具体的な検討方針について 18 日までにどういうふうな方針で検討するかといったようなところとそれからある程度先生、その方、
0:16:11	結果は全く出さないということではなくってある程度我々の中でも手を動かせるものがあつたらそのこのテントのでき方といったようなところもお示しすると、それから表層につきまして
0:16:21	その段階で、
0:16:23	ヒダカのところまでお示して、ちょっとアノコウですね我々内容についてお示ししたいといったようなところを考えてございます。
0:16:33	とですね、これももちろんですね、上のところでいいという形でこれまでのコメントを踏まえた修正等ですねまだ今積み残してる状態にございますので、
0:16:44	それはもちろんですね、この 12 月 27 日ヒロキ提出 1 月 10 日ヒラタを考えて書いてございますけれども、このところで反映させていただきたいと、いうふうに思っております。
0:16:56	で、それを、
0:16:58	がですね、次の 1 月 18 日の提出までの都丸さんでございましてそれを持ちまして、ですねまたコメントをいただけますでしょうかそれとも、

0:17:08	しながら、次のフェーズでは、
0:17:11	④と、
0:17:12	一体のところでは基本
0:17:15	に対しての検討に、
0:17:24	はい。
0:17:25	によりニシダでございます。
0:17:28	あと、5 ページの 2 で 1.1 ということで、教授は、
0:17:34	私は、
0:17:35	資料 1 から 3 まで書いてある。
0:17:38	まちがまたあってもいいです。恐縮ですけど、
0:17:40	最初に廃棄物、あとMOXの今後共通収入をどういうふうに進成を進めていくかという、考え方を示させていただいております。
0:17:54	とそれぞれのワードキーワードところに例えば、再処理廃棄物の説明グループ 1 であれば、DBに係る設計で 11 月にお出しをし、SAに係る設計とあと代表設定の反映と、
0:18:07	いうのを、吹き出しの方には 1 月末目標というふうに書かさせていただいております。
0:18:13	やはりこういうそれぞれですねパーツを、
0:18:18	ある程度区切って段階的に提示をさせてこちらでも作成をし提示をさせていただければと、いうふうに思っているところでございます。
0:18:28	理由は前々からお話ある体制の話で、特にSAがですねグループ 1 グループ 2 グループさんそれぞれに関係するところで、
0:18:37	全体の体制、マンパワー的なものも含めて、作業としてシーケンシャルにそれぞれ流れていくという形にできないかなということを考えて今、こういう形で資料作成を進めていければと。
0:18:52	いうふうに思っているところでございます。
0:18:54	あとは特に耐震ですねグループ 1 グループに行く耐震のところの、同じように、ボリューム感、
0:19:01	いうところをどういうふうに進めていくかということも考えながら、整理作成を進めていければと思っております。
0:19:08	さっきMOXの方も説明グループ 2 ですかああいうのは、
0:19:15	説明グループ 1 の関連する資料 4 と若干かぶるかと思えますけど、並行してやらせていただければということと、MOXの説明グループ 1 の関連と書いてある資料 4 のときに、再処理の評価の話もあわせて提示をしていくと。
0:19:32	ということがそれを上で言うし、今資料 1 から 3 しか、最初に廃棄物書いてませんが、資料 4 をどうしていくかという、作成を、

0:19:41	進め方ということにも反映をしていければと思っております。
0:19:46	現状少なくとも5ページの右下の方のボックスの説明グループ2の関連これ火災と外傷が入るんですが、こういった外傷のところについては、当然ながら評価が、再処理とMOXと同じような評価をします。
0:20:00	ということもありますんでそういうところは、どちらを先行してやって、泡が残ってるところはそれに同じようにやるんだと、ということも含めて合理的な説明ができるように、体制含めて考えていかないと、
0:20:14	いけないというふうには認識をしていると、いうことでございます。
0:20:18	全体的なそれぞれのスケジュール感というのは、お示しはまだうまくできてませんが、大体それぞれの、どういう分割でやっていきたい段階的にやっていきたいかと。
0:20:29	いうことを5ページの中に示させていただいたと。
0:20:32	いうことでございます。
0:20:35	ここで一旦切り、
0:20:37	でもあるんですか。はい。
0:20:42	規制庁、
0:20:44	長。
0:20:45	議長。
0:20:47	ニポツ絡みで、
0:20:53	そうです。
0:20:56	規制庁のアライですけど、
0:20:58	次回の会合ということで、
0:21:02	構造設計側の方については、メインはオクノグループ1の解析評価等は、
0:21:10	出てくるのかな。そこが一番
0:21:14	現実性が高いのかなとは思ってて、
0:21:18	ただいろいろ作業を並行するわけで、例えばグループ2の構造設計の話とか、
0:21:25	あとは
0:21:28	再処理の代表の話とかもいろいろある中で、果たして解析評価等の説明が、
0:21:34	しっかり準備ができて、1月下旬ないしは12、2月上旬までに間に合うのかどうか。
0:21:43	他の作業をやりながらってところが、一番懸念しているところで、
0:21:49	無理やり中途半端なものを審査会合で、これでちゃんと適合性説明できますって出されても、
0:21:58	またやり直していうところになってしまうので、

0:22:03	だからもう少しゴロツとちゃんと説明しているものにできるものに焦点を絞って準備ができれば、2月の
0:22:11	第1月、次回の会合ですか。
0:22:14	に、挙げられるのかなと思うんですけども、
0:22:17	ちょっとそこら辺のスケジュール感とかっていうのは、どういうふうを考えていらっしゃるんですか。
0:22:23	はい。イデニシダでございます。どうぞおっしゃっていただいて今、そこはMOXだけ見ても、説明グループ1に関連する解析評価と言ってるものと、
0:22:34	説明グループ2の構造設計2の1の話ですね、やってる。
0:22:41	作業する実際の作成者は別の人間になるんですけど、あとはそれを取りまとめる人間は、全く一緒、かぶってる状態なので、
0:22:51	そのマンパワーも含めて、現実的な作業スケジュールということはおっしゃる通りだと思いますそこも含めて
0:22:59	まだ具体的にはスケジュールも、
0:23:03	ふわっとというか大分遅れ気味なスケジュールしか示せませんので、どちらにウエイトを置くかということも含めて、もう少し検討させていただきたいと思います。はい。はい。
0:23:12	結果的に構造設計の方は、準備できずに、次回会合では流れますっていう結論を、もしくは出てくるのではないかなと思いますので、もう少し計画性を、
0:23:25	今後作業する中で出てくるかと思しますので、そのその辺の相場感を説明いただければと思います。
0:23:33	大きなところは以上です。
0:23:38	規制庁、丹治です。
0:23:41	解析、2-2の話をするにあたって、中央防災の資料出てますけど、これは何の代表なんですかっていう話がまだ聞けてなくて、そのマンションはいつ、
0:23:53	はい、与儀西原でございます。ですね。はい。少なくとも資料4全体のパッケージとしてどういうものを提示をするかも含めて、本日お出しをする事業の中では、
0:24:06	提示ができると思ってますので、その中で、何人の代表で、資料4-2)っていうですね、パーツを示しているかということも、その中でアノてお示しできると思ってます。
0:24:19	その上で、それで本当に代表たるものかどうかっていうところは、26日のJリングでお話をさせていただくのかなと思ってました。
0:24:29	はい。

0:24:30	今日の定常というと資料4だけってなってますけど、2とかも出てくる。
0:24:35	資料にも出てきて、それでも日本だけでも、代表性の説明が持ちきちやってるんですか。ええ。
0:24:42	はい。アノセキitアノツカベの資料4が今回の計上するになってなくてですね。
0:24:48	ただ資料4の中でも資料3とかでやる構造設計とかの関係も含めて、
0:24:55	どういうグルーピングでこれを立てているのかっていうのは、
0:24:59	表の中では整理ができていっていると思うので、
0:25:02	その中で議論かなと思ってました。はい。
0:25:05	資料には少なくともあれですね、審査会合のときに、別添としてですけどお出しをしたものから、特に今変わってないというのが現状ステータスでございます。
0:25:17	はい。今日出てきて、来週これっていうことで、まず、
0:25:26	関係。よろしいですか。
0:25:29	規制庁からすると、
0:25:31	次回の会合で再処理はどういうふうの説明。
0:25:35	しますか。
0:25:37	はい、西原でございます
0:25:41	不足分というのは少なくとも今回の
0:25:46	今週か審査会合で話しましたので、その対応状況ということは、少なくとも、
0:25:53	お話ができるとは言いながら具体的話がどこまでできるかっていうところだと思います現状、まだ1月末に資料提示と言ってるぐらいですので、それで次回会合と水間の状態であると。
0:26:08	はい。それじゃ、再処理は前回、前回っていうか今週、
0:26:13	やった会合で、やっと何か整理がついたみたいな話で、次の会合で全くなしというのも、
0:26:20	なんですし課題は、
0:26:23	あったということで、整理方針だと。
0:26:26	説明さ
0:26:28	ちゃんと説明した。
0:26:33	与儀ニシダでございますはい。失礼いたしました。
0:26:41	古作です。ごめんなさい。ちょっと今聞きとれてなかったもので、
0:26:45	確認なんですけど。
0:26:48	等、
0:26:52	課題となっていたものの主状況っていう古藤の説明っていう。
0:27:00	理解でよかったですかね。

0:27:03	はい。
0:27:05	ちょっと補足です。そのポイントって何かなってということなんですけど。
0:27:11	いろいろありましたけど、どう、どういったところで、
0:27:16	話をするんですか。
0:27:19	はい、野木西原でございます。
0:27:22	一つは、代表をどうしていくか結局は前回お出しをしたものが一番駄目だったのが一律で代表を選んでいるところが全然設計方針とミスマッチってか連携取れてないところだったので、
0:27:35	そういうところをどう考えて今整理をしていって資料3なり2とか資料に資料3に落とし込んでいるかという状況は一つのポイントかと。
0:27:44	いうふうに思ってます。
0:27:46	あとはSAの話ですかね。そういう話もちょうとどう整理して、状況が報告できるか。
0:27:54	これが今資料スケジュールでいくとし、1月の中旬に、
0:27:59	資料お出しするものとのリンクも含めて、そういう状況を報告するのであれば、それがお出しをする資料とリンクができてないと駄目だと思うので、
0:28:11	そういったところもまだ整理が必要かと思ってます。
0:28:16	はい。補足ですSAのを入れ込むってこと自体もちょうと何をどうしていくつもりなのかよくわからない
0:28:25	んじゃないくて、
0:28:29	今の7月中旬だったり末だたりって言ってるのは、
0:28:33	具体的にどうなるんですか。
0:28:35	はい。日本インダでございます少なくとも11月30日を出したものを、資料2の時点で、
0:28:42	36条のシートがついてないということ。これは入れ込まなきゃいけないということ。あと
0:28:48	8条ナイトウひもづけをして、八条側の資料2位なりに、
0:28:54	必要なSA側とのコラボでの設計の説明のない方針ですかね。
0:29:00	投資リョウサンガイへの展開ということで、
0:29:03	代表も含めて今回、DBの設計方針を眺めながら、代表を選んだときに、SAが上に立つた時にですね、代表として新たに起こすものがあるのかとどちらかという、
0:29:15	資料3な気がしますけど、
0:29:17	どう考えていくのかってところが拡充しないといけないと思ってました。
0:29:24	はい。補足です。課題意識は同じかなと思うんですけど。
0:29:30	進め方がいまいちぴんとなくて、

0:29:36	5 ページの見てみてもですね、そのあたりどうやるつもりで今これ書いてんのってわからない。
0:29:42	ですよって何か。
0:29:50	はい。多分あれですね、5 ページを作ってマイネーム全部外しちゃったので、それぞれのタナカでどういうふうここに結びつけていくのかのストーリーが、今完全に抜けちゃってるので、
0:30:02	そこをちょっと考えて、考えないと年末年始の作業を、知事も含めて私もうまくできなくなっちゃうので、そういうところを整理していきたいと思います。はい。
0:30:15	すいませんコサクです。
0:30:22	この後代表の話もしていくことになるんですけど、
0:30:30	なんか相変わらずDBSAって考えてるのが、私には全く理解できないんですよ。
0:30:37	おります。
0:30:41	そんな垣根とつばらっちゃえばいいのって思ってるんですけど、実務やってる人って人分かれてるなんてことないですよ。
0:30:48	許認可業務課じゃねえやごめんなさい、新基準設計部が別にいるってのはそれはそうですけど、実務やってる人は施設課で同じです。はい。広瀬ってないですよ。ついてないです。はい。
0:31:03	コサクですだったら、何か進む、そんなことをやってどんどん細分化して細かくやるから、あっちもこっちもみたいになるんであって、
0:31:11	求めてやりゃいいじゃねえかそのために代表って言うのについていう、
0:31:15	気がするんですけど。
0:31:18	はい、与儀西田でございますはい。そういう意味では、そうですねおっしゃる通りですね。はい。
0:31:27	代表もおっしゃっていただいているようにDSAっていう垣根があって代表を選んでいるつもりはもともとはなくてですね、載せて言えば、SEをジョイントしたとき、代表なんか出す必要があるっていう、
0:31:39	クエスチョンが1個入るか入らないかっていうことだとは思ってるんですけど。
0:31:43	そもそも全部まとめて、全体で設計方針語れてるよねっていうところが、スタートだと思っているので、そういったところも、
0:31:54	私が大分そういうところの認識がまだ残っているのかもしれないので、資料としても、そういうのが見えているのかもしれないので絶対、もうちょっとフラットに整理ができればと思います。はい。
0:32:08	はい。高速です。なので、グループ1ワー

0:32:13	とりあえずその再処理廃棄物管理の方も、共通 12 ってどういうものなのか何をすべきなのかっていうことの認識をとるためにも、
0:32:23	DBの部分で、先行したと。
0:32:26	ということですから、それを踏まえる等SAが入ってきたときに追加が何を っているのは議論はしようがないと思うんですけど。
0:32:35	一方で、
0:32:37	グループ 23C、
0:32:39	567 については、まだそんなに着手していないはずであって、であればち ゃんと意識でどうあるべきかということにしてスタートすればいいだろう と。
0:32:50	思ってますけどそこはいいですかね。
0:32:54	はい、西原でございますはい。
0:32:58	変に垣根を作って、説明がよくわかんなくなるっていうのも、何かマツダ な気もしてきますので。はい。全体でパッケージ化することはおっ しゃる通りだと思います。はい。
0:33:11	はい。補足です。さらに言うと、グループ 1 なんですけど、
0:33:16	結局、DBで先行したと言っても、DBでの代表性すらまともになってな いわけで、
0:33:22	だとすると、
0:33:23	この段階からもSA入れて代表何ってできるんじゃないですか。
0:33:29	はい。宮城ニシダでございますはい。それも、はい。おっしゃる通り、
0:33:33	はい。
0:33:35	もうすでに、そうですね。
0:33:41	説明グループ、一井に関係するSAのやつの、DBとのジョイントアノ添 付 1 といったやつの整理も含めて、
0:33:48	やってしまって、全体通して代表なんだっけっていう話をできると思いま すはい。
0:33:57	はい。
0:33:57	コサクです。なので今日この後代表性の話を踏まえて、明日までとかそ の時にもですね、SAも念頭に置いて全体としてどういう代表性っていう ことでやればいいのかという話をできればなど。
0:34:13	思っています。それを踏まえた作業の、
0:34:18	進め方時期というのを改めて整理をして、お聞かせいただきたいと思っ てます。
0:34:27	で、

0:34:30	前回会合そういった整理の状況として、SMを含めて代表っていうのをこういうふうに考えてきましたという説明であれば、1回ワンタッチしておくのもいいのかなというふうに思います。以上です。
0:34:45	はい、日本インダでございますはい。ありがとうございます。今ご指摘いただいた点、この後の説明でもそういったことを意識しながら、説明をしていっていきたいと思いますし、会合の件もおっしゃる通り、
0:34:56	ますので、整理進めます。
0:35:01	はい。補足でちょっとよろしく申し上げますそれで、もう一つの2-2の方なんですけど、今日MOXのグループ1として提示されて26日のヒアリングっていう古藤なのでそれを見ればいいたろう。
0:35:16	いうことではあるんですけど、
0:35:19	これって、どの範囲であってっていうのとか全体の、
0:35:25	状況ってわかるようになってます。
0:35:29	はい。或いはそれと、最初にとの関係と、
0:35:33	もう久米なんですけど、はい。
0:35:36	まず
0:35:38	再処理も含めた全体の内での位置付けにまだなりきれてません。情報が足りません。
0:35:44	それでやっていいんじゃないかってところがあると思うんでそこも考えますけど、あとはボックスを見たときの第2回全体を通した御説明グループ1だけじゃなくて、
0:35:56	全体通した評価としての紐づけだったり、どこで、構造的どころグループ合同設計の後に、どの評価の話をするかとかっていう整理はしたものはつけさせていただいてます。
0:36:12	古作です。
0:36:16	構造設計
0:36:17	経営の方との関係というよりは、解析評価等の全体像の中の、この部分、はい。
0:36:26	ということなんですけど。はい。一応それもわかります。言えます。はい。
0:36:33	わかりました。
0:36:36	最初に廃棄物管理との関係っていう点でいうと、まだ再処理廃棄物管理は、構造設計の方のグループ一井が引っかかりっていうことなので、
0:36:50	まだ解析評価等にそもそも入れないっていうことですから、そうするとMOXが先行して説明をしていて、後から、その部分の最初に廃棄物管理を同様に説明していきますということであれば
0:37:06	先行してやっていけばいいねということなんですけど、

0:37:11	同様の説明になるので、最初に廃棄物管理も念頭にまとめて代表で説明しますよと。
0:37:18	いうことであればそれもそれでありだと思うので、そういう説明をしてもらえればと思いますが、どっちになるような内容なんですかね。
0:37:28	はい。乳井ニシダでございます。もともとやりたかったのは、今医師おっしゃっていた再処理廃棄物も含めて、共通類似のものがこういうものがあってと。
0:37:38	その代表としてここで、このポイントの説明をしますよという流れをやりたかったというのが、もともと思っているところです。現状まだ、
0:37:47	最初に廃棄物の評価の項目であったりということも抜き出せてないところなので、目指す姿にはなってませんが、やりたかったのは、
0:37:55	そういうことで、こういうことです。はい。
0:37:59	はい。高速です。す。
0:38:01	全体像をまとめられなくても、何らかの関係性を説明できると思いますので、少し憂える様をお願いします。で、
0:38:12	その上でしっかりとそういうのが説明できるっていうことにするためには再処理、廃棄物管理の方の評価項目の整理と、
0:38:24	いうことが必要ですけど、それをここで資料4が欠けていない時点で、多分まだ整理できてないんだと思いますけど、いつぐらいに整理するんです。
0:38:33	はい、乳井西原。
0:38:35	現状
0:38:37	井清、
0:38:40	MOXの資料4 関係大井ろうと思っている11日に資料提示をするときには最初に廃棄物管理の評価項目の整理も含めて、全体像。
0:38:54	関係性ですね、そういったことが示せるようにしたいというふうに今思ってます。
0:39:03	あ、わかりました。あれですねスケジュールのところの11日の提示では、赤字で書いてあるのかと思います。はい。
0:39:14	わかりました。これ抽出結果含むになってますけど抽出していつ、何をとかっていうグループ化も含めっていうことです。
0:39:24	はい。それで、当然いろんな資料作っていった資料1、3が出てくると、変わったりすることあるけど、その時点で考える、リンケージというか、どの説明グループの
0:39:37	構造設計とリンクするかということも含めて整理したものをお出ししようと思ってます。

0:39:43	はい、わかりました。そうする等、先ほど言った再処理廃棄物管理とMOXでコラボしてみたいなところも見えるようにな。
0:39:54	できると思うので、それもわかるようにしてもらえればと。
0:39:59	はい。与儀ニシダでございます。
0:40:10	はい。コサクです。そう、それを踏まえてまず先頭バッテリーということで、ボックスのグループ1を、
0:40:22	見させていただいて、前回の会合で、概念的なところっていうところは共有されてますけど、
0:40:32	具体がしっかりとできてきているか。
0:40:35	いうことで、
0:40:38	話ができるかと思ってます。で、
0:40:42	今回の出す範囲が大きく三つの分類でかい。
0:40:48	出ますけど、どれくらい埋まってきているものなのか。
0:40:53	ていうので、一通り待てば前例が一通りできて、順次繋がっていくということなんですけどそのあたりはどうでしょう。
0:41:02	はい。
0:41:03	藤。
0:41:04	介護のパターン、評価のパターン、三つあって(1)(2)(3)それ以外で少なくとも、
0:41:14	パーツ一つは、耐震も含めて入れてます、入れたものを今日出そうと思ってます。
0:41:20	若干
0:41:22	設定金野所%とかですね、設計コウ以外のものその他も含めて、(3)だったかな、(2)以下にしたんですけど、
0:41:32	今回の説明グループ1の関係であまり設定昆関係で、今回の評価とのコラボで今の時点で説明するっていうパーツになりえない人ばかりで、
0:41:43	今よ、何だっけな、搬送設備の容量だけが6(2)のグループで入ってますけど、そういうのも含めると含めて、(1)(2)(3)それぞれで、
0:41:53	何らかのパーツ入った状態で、今日出そうと思ってました。
0:42:01	はい、古作です。あの状況わかりました。設定根拠は何でそんなにないんですかね。
0:42:09	藤。
0:42:10	ちょっとすいません私もあれですけど、
0:42:16	コサクですけど、それなぜかって思ったときに設定根拠説明書丹念じゃねっていうような気もしていですね。はい。
0:42:25	そもそも

0:42:27	最初に廃棄物管理だったら昨年 12 月、MOXだと今年初めに出した。
0:42:35	申請書っていうのを見たときに、愕然とこちらはしてですね。
0:42:39	耐震の抜け漏れがあったとかっていうのもそうなんですけど、それ以前に、余りにもすかすかだと。
0:42:49	ということなんですよ。
0:42:51	Dというのが
0:42:54	詳細が触れられていないっていうだけじゃなくて、項目を抜けてないっていうようなこともあるので、
0:43:02	現状の申請書ベース 2 作業してる等、必ず足りないところがあってそれを埋めるのために、共通中というので項目をしっかりと抽出してっていう話をしているんだと、ということなんですけど実務がそれ、磯。
0:43:18	出ないんじゃないかなって気もするんですけど大丈夫ですかね。
0:43:22	はい。日本イシハラでございます。はい。まだそういう意味では、
0:43:29	とは言えなあと。はい。中では当然
0:43:34	今回資料、先ほど神谷さん資料についていくのかっていうと資料 2 の段階でもう設定今が関係するところ仕様表の項目との関係でリストに入れて、
0:43:44	資料の中に入れてリンケージをとっているので、何でこれ仕様表の項目あんのにそもそも、
0:43:50	設定コウないんだっけみたいな議論は当然しながらも、
0:43:53	やってはいます。ただそういう目でちゃんともう 1 回見てですね。
0:43:59	出した申請書ありきというよりは設定根拠説明書をそもそもつけなきゃいけないものがアンドウあるべきでそれに対して、過不足が不足がないかという点の、
0:44:10	議論をちゃんとしていければと思います。ちょっとまだ目がそういう目になりきってないところは改善していきたいと思い
0:44:19	はい、古作です。その点も、今日の提出資料を見ながら話ができるかなと思いますので、今後
0:44:29	添付書類の記載の拡充ということも、
0:44:34	視野に、
0:44:35	入れて議論ができればなど。
0:44:37	てます。
0:44:38	とりあえず私から以上です。
0:44:45	規制庁花木です。耐震関係ですけれども、
0:44:51	次回会合が、前回会合の最後に、
0:44:56	今後の対応ですね、と言う②と③。
0:45:00	それからその後、

0:45:01	次回以降が④、今なってる。
0:45:04	ですけども、まず次回も①忘れないで、
0:45:09	それと、
0:45:10	丸さんの話ですね、
0:45:15	元基本地盤モデルを作成するための基本、検討項目でやって欲しい。これ先ほど野本さんの方から、
0:45:24	1月18日提出のデマチの中でですね触りのっていう話があったんで、そういう意味では、沢有井をこの次回会合説明されるってのはありなんですけども、
0:45:36	まず、②の、
0:45:39	特徴とらえた地下構造、これまだ12グループでまだハードルが幾つも残っているというふうな、それが一つですね、その完成度に応じて、③についてもですね、いろいろと、
0:45:50	考えないといけないうてあるんで、議会側から③の項目、抜く必要ないんじゃないかと抜く必要はないんですけども、
0:46:00	ちょっとステップとして、前のベップかなというふうに思いますんで、
0:46:05	現実的な
0:46:10	工程を考えてもらいたい。
0:46:12	当然、次回以降ですね。
0:46:15	藤丸さんの話を含めて、④ということになるんですね、ちょっと我々の考えている工程よりはかなり早目の今、
0:46:25	工程なんか示されてっていうふうに思ってますので、まず本当にそれを目指すのか。
0:46:31	実現できるのかね。考えてもらえればと思います。はい。
0:46:35	はい、どうぞ。はい。日本原燃野元でございます。はい。おっしゃる通り②のところをきっちりやり切るというのが今の最大のミッションだという意識を我々も持っていますんで、
0:46:45	おっしゃっていただいている通り③のさわりってさっき言いましたけどそれがちょっと今2ポツのところでは、ちゃんと表現できてなくて、タカオアノを、次回会合で丸さんが終わるかというようなちょっと書き方してしまったのはすみません、ちょっと私の記載の、
0:47:00	ちょっと足らずだというふうに思っています。ですので、おっしゃっていただいている2020決めます。で、その上でその②の、もしもここでやはりですね足らずテストの議論とかありましたらば、それは②をまず片付けてからと。

0:47:14	いう認識になると思っておりますし、ですのでえっとですね理事会のもしも②が、それなりに十分なものが我々ご提示したと、できたと仮定したとしてもですね。
0:47:25	土肥議会は、③についての、改めて方針をこうしました。そこで結果は、それに沿ってやるとこうでしたといったような形だと思いますんで方針のところからして、理事会のミッションに、
0:47:38	間違いなく残るという認識を持ってちょっときっちり認識をそろえて参りたいというふうに思います。以上でございます。はい。市長。
0:47:49	ある程度共通になりました。はい。以上。
0:47:56	成長。それでは、次サンポつ1ぐらいですか。最初に大分話をして、
0:48:09	規制庁、特になければ、私から1点
0:48:13	ページ、
0:48:16	一緒に廃棄物も、
0:48:19	二つ目の説明グループのところで、
0:48:22	耐震で各一部先行書いてあるのが、何かよくわからなくて説明、グループ1でも何かあるんですねと思ってるんですけど、ちょっと耐震の、
0:48:32	最初は廃棄物どう進めていくイメージか教えてもらえますか。
0:48:36	はい。日本イシハラでございます。耐震絡み説明グループ1年もおっしゃる通り建物構築物等、屋外機ですかね。
0:48:46	のパーツであるものもあります。一方説明グループ2が現状、若干ながら悩んでいるのは、屋内機器配管を全部耐震も含めてある、耐震がパーツがそこに入るので、
0:48:58	今一部変更って書いているのは、FEM呉、
0:49:04	何だっけな、配管系、あとっていうのはそれぞれのパーツ、定式化も含めた三つのパーツで、例えば大代表というか先行で、
0:49:15	1基ずつ出しつつ、実際は
0:49:19	耐震記念13とかですね代表の谷津力も含めたやつで、説明しなきゃいけない項目設計プロセスの項目ごとに、一番網羅性があるものを代表しつつ、
0:49:31	その中で説明しきれないような項目があれば、別でまた、項目を他代表立てながらやっていくっていうそのめ、そのあとに出てくる他の項目、網羅性で確保できないような他の項目を説明する代表みたいのを、
0:49:46	この追加と書いてるところへ出すとかですね、いうやり方をしたいなというのがもともと考えたやり方です。
0:49:54	まず、大分よくわかんないですけど、ここで書いてある5ページに書いてある耐震って耐震基準の2点だけ綺麗だけ。
0:50:02	と思ってください。

0:50:04	駅伝が一部先行ってというのはどう。
0:50:10	グループ 1 と一緒にやりますよ、なのか。
0:50:14	そのグループ 2 の中で、
0:50:16	何か、
0:50:17	グループ 2 の中で、耐震綺麗に最初触りを整理するフェーズがあり、そのあと具体をフェーズがアリタイソダそういうことなんですか。
0:50:28	すいませんコサクです。
0:50:29	ちょっと
0:50:34	確認なんですけど、先ほどの石原さんの説明だと、
0:50:38	資料 4 の説明をするかのように聞こえたんですよ。
0:50:43	だけどこれ紙資料 3 の方の話ですよ。
0:50:47	そんな時にあれですか資料 4 累計でFEMなのかなのかという、
0:50:54	ところを踏まえて、それに対応するように資料 3 の方も作るの、それでってことです。その通りでございます。
0:51:07	補足です、そう。
0:51:10	伐倒数。
0:51:13	ルール等どうなんだろう。
0:51:19	スペック、FMでやる時にはそのFEMのモデルのポイントになるところをちゃんと実
0:51:27	地続きで言うところこういうふうになってますってことを言わなきゃいけないので、
0:51:34	定型式なりなんなのところは、大枠こういう形で
0:51:39	事故が取れますよみたいなことだったり、サポートがこうですよということ、
0:51:45	特徴があるのでそれぞれっていうと、
0:51:48	ですかね。はい。
0:51:52	日本原燃芳賀です。ごめんなさい。どうぞ。今の点ですね私も耐震やってるメンバーとちょっと話を聞いたんですけども、
0:52:01	これ出資はおっしゃる通りでして、グループ 2、
0:52:07	国内機器配管の
0:52:08	資料 3 結構集中してるのと、ちょっとどれぐらい物量かって
0:52:13	25Lぐらいあるのかなって見積もりなんですけども、
0:52:17	その中で、これちょっと体制の話とも絡むんですけども、
0:52:21	それだけ施設課のですね、作成者、使用者の作成者が来ばらけてしまうと。
0:52:29	どうしてもばらけてしまうと、その横同士と底上げ。
0:52:33	をやる。

0:52:34	今ですね、結構それなりに力いるかなというふうに思ってます。
0:52:39	ちょっとこれを、その限られたリソースの中で、
0:52:44	効率的にやるのをどうしたらいいかなって話でして、ある程度その一部代表的なもので、雛形を固めてですね。
0:52:51	それをまたその施設が全体に展開していくっていうようなやり方で、
0:52:57	ちょっと効率的に進めたいなっていうのが、ちょっとこの思いで書いた
0:53:00	んです。
0:53:01	何を先行させるのかっていうところは、質問先の、FMの切り口であったり、ちょっと幾つか切り口あるのかなっていうのは思っております。
0:53:10	以上です。
0:53:12	コサクです。
0:53:14	切り口と言われたところが若干不安に思うところですけど、最初の石原さんの説明からすると、説明パターンとしての類型があったものはそれは一通りそろえますと。
0:53:27	類型の中での先行例でしっかりと見込んで、必要な作業というのを特定させて、順次ふやしていく。
0:53:38	そのふやすっていうのは、代表って言葉が使われてましたけど、私、
0:53:43	としては差分っていうような、
0:53:46	こともあっての抽出だと思って単純にふやすわけじゃない。
0:53:51	主、
0:53:53	ます。なので
0:53:56	説明グループ一井。
0:53:58	の中での中でのちょっと語弊赤間の段階から整理をする代表性差分の説明ポイントの抽出と、
0:54:06	いうところの考えをしっかりと作っておいてグループに展開してくださいねっていうのを先ほどお話をしたところです。ここまで理解共通になっているって思っていますかね。
0:54:16	はい。元ハセガワです同じ認識です。ありがとうございます。
0:54:21	はい。ちょ、
0:54:22	ここでカミデさんに戻します。
0:54:25	はい、規制庁。
0:54:27	阿藤。
0:54:28	になるのが、MOXでもやってるし、
0:54:32	貴殿はやってるし、
0:54:34	今日その代表性の話。
0:54:37	資料出てきてるとなると、
0:54:39	再処理等共通する部分があって、

0:54:44	改めて再処理で、グループにて、
0:54:48	発問の話を聞くわけじゃなくて、そういう認識でいるし、いいし、
0:54:52	一応この線図を見ても、MOXの説明グループ1の資料4と、再処理の先行っていうのも一応かぶっているか、好意的に思えば一緒ですよって言うって思っているいいですか。はい。はい。
0:55:10	はい、規制庁マツオカヤマシタモリワキになっております。
0:55:17	規制庁カセイトウタケダさっきのMOXの評価の進め方と、
0:55:24	等のうちグループ、僕の説明グループにも外傷の
0:55:29	評価の部分を、
0:55:31	再処理と一緒にやるっておっしゃってて、
0:55:36	そのタイミングが大分ずれてるんですけど。
0:55:40	そこで、
0:55:41	再処理廃棄物の説明グループ1の資料4のタイミングは結構後になるとか、何かそういう調整される。
0:55:50	ニシウラでございますどちらかという。5ページにも合理的に説明できるやり方を考えますって言うのは、先ほどあれじゃないですけど、先行してMOXでやって、
0:56:01	もう最初には同じですってやり方も多分あると思う。
0:56:04	どういうやり方をするかをちょっと考えたいと思って。はい、規制庁さんでもその説明グループ2の賠償ってほとんどない。ないです。思うんですけど気圧差荷重しかないですよ。はい。
0:56:16	そこを一緒にやるということですか。
0:56:19	はい。
0:56:21	あと、説明グループ4。
0:56:23	移行の話とかって、これどういう意味。
0:56:28	でしょうか。ソネニシダでございます。
0:56:32	先ほどのSAがんアノマップ案も含めてっていう話はしながらも、冒頭大坂さんから、
0:56:38	説明グループ1はある種、形を決めにいくっていう形、ことも考えてDB末、分けたけどもと言いながら説明グループ2以降、どう出していくか正しく
0:56:50	分けてやる必要があるのかっていうのも含めてちょっと考えたいと思います。現状は、
0:56:55	分けることを何となく前提みたいな感じで、どうやって1人を考えようかなみたいなことも含めて書きましたけど、

0:57:03	パッケージとしてその分けたことによってパッケージがおかしくなるようだったら、それは分けても意味がないと思いますしそこは考えたいと思います。はい。
0:57:13	はい、規制庁です。それで、通すグループ 3 以降の、
0:57:17	考え方がもうちょっと、
0:57:18	変わってくるってことです。
0:57:20	どう思いますはい。はい、規制庁グループありました。
0:57:24	とりあえず以上。
0:57:26	コサクです。今のあれですよ。最初に廃棄物管理だと、グループ 4 と 567 っていうのが並行して走りますみたいを書いてあるけど、そもそも 567 ってまとめていること自体もどうなのっていうことであって、
0:57:40	何でこうなってんですかってさらにMOXの方も 3 から 5 ってなってるし、ということですけど、これは、
0:57:49	できたものからやらせてくださいっていうこと。
0:57:52	人間のインダでございましてできたものかと言いながら、これも前後関係が説明グループを分けた時点で発生してるものもあるので、追い越せないものもあると思ってます。そこは説明グループを考えたとき、
0:58:05	順番でやらないといけないと思ってるのと、ちょっと
0:58:10	そうですね、1 枚押し込めようとして大分サボってしまったので、5 から 7 っていうのは、5、567 っていうのは当然分けた以上、分けたグループとして説明をしていくものだと思ってます。
0:58:21	し、MOXの 3 から 5 も同じです。分けた意味がある以上はその分けた考え方に沿ってそれぞれ、
0:58:28	資料を作成し説明をさせていただくということで認識をしております。はい。
0:58:34	はい。補足です。そうすると、今 4 と 56 何とかなってますけど単純に 4 以降、MOXであれば 3 以降というのは順次やります、詳細化をまだしてませんけどっていうそういうことです。はい。
0:58:47	はい、わかりました。日本原燃長谷川です。これ、すいませんちょっと遠地なってるんですけども、
0:58:53	これす。タイトル作成の進め方っていうことで、ちょっと我々やっぱ社内動かすためにですね、作成の目標は決めないといけないとな。
0:59:03	思ってまして。
0:59:05	三角左からですね、我々社内では 1 月 2 月 3 月 4 月末という形で、一応ターゲットを置いてます。そういう気持ちで書いてまして。
0:59:17	それで今出た 4567 も、4 月を目指して作ると。

0:59:24	ということやってます。ちょっとまだ提出のタイミングとですね、ヒアリングの組み方は、
0:59:29	ちょっとまたご相談させていただく必要あるかなというふうには思ってます。
0:59:33	それからグループ順番にきちっと説明していくってのが筋だと、認識しつつ、例えば
0:59:41	グループ4の火災なんかはですね、ちょっとDDS分けるのかどうかって議論もあるんですけども、
0:59:48	一番の準備、
0:59:49	早くできればですね、ちょっとまた早めに、
0:59:53	一部出すみたいなのところもちょっとご相談できないかなってのはちょっとこれから思っているということになります。
1:00:00	1、ちょっと以上です。
1:00:04	古作です。葛西はですね物量感が
1:00:09	D、D全体として話を見なきゃいけない。さらに影響評価っていうのがあると。
1:00:16	ということなので、
1:00:18	グループ2での溢水等、
1:00:24	コラボしながらやってもいいんじゃないのっていう気もするんですよ。なので、早めに出せるなら出していただいてもいいのかなというふうには思い、
1:00:34	ます。
1:00:35	す。
1:00:36	評価も含めてですね全体どうするのかっていうのをまた確認できればと思います。以上です。
1:00:42	社内ついてくれんのかって話もありますんで、ちょっとそこもきっちり見ながら、またご相談させてください。
1:00:50	はい、細田です。はい。それが一番大事なので、まとめて4月にとかって言ってますけど、
1:01:01	誰がどう張りついてできるようになってんのっていうのが、とても
1:01:05	疑問に思っちゃう図なので、そのあたり、また説明いただきたいと思えますけど、あと、体制の話ってまたこれから別でそうですね話をされて、
1:01:16	このタイミングで体制の話すいません、口頭になりますけども、
1:01:20	今ちょっと公文としている体制はですね、この123567それぞれに、ちょっとまずSTを張りつけます。
1:01:29	それから、社内的にはですね、

1:01:33	次世代SPとも呼んでるメンバーもそれぞれ張りつけないと、4ぐらいまで張りつけないというふうに思ってます。
1:01:42	そこに資料2を作るですね、条文責任者っていうかね条文担当者をそれぞれ
1:01:50	当然張りつけた上で、
1:01:52	資料3をですね、中心的に作る施設課のメンバーをですね、それも
1:02:00	1件一葉というか、一つの機器ごとに誰が作るっていう体制を今、大方、つくれてるんですけども、整理していると。
1:02:10	ということです。
1:02:12	一応その体制を組んだ上で、先ほど言った社内的には1234月っていう目標を立ててですね。
1:02:21	それぞれ進捗、アウトプットを見ながら進捗管理して、
1:02:26	ということでして、
1:02:28	1回目のアウトプットは昨日アウトプットしながら、ちょっと細かく進捗を見ていこうかなと思ってます。
1:02:35	その中で、やっぱり資料3、前も日下さんおっしゃってたんですけども、
1:02:42	施設課で、条文担当も含めて、新しい人ですかね。グループ1で経験してない人。
1:02:50	やっぱり若葉マークの人が入ってきますので、
1:02:54	ちょっとそのグループ一井の経験踏まえた、何ですかね。
1:02:59	導入教育的なものですか、
1:03:03	あとは都度都度作りながら、全員集めてですね、一堂に会して、作業会的に、
1:03:12	やりながら、ちょっとそこに、できればST谷入りながらですね、底上げもしていくという取り組みで、
1:03:20	ちょっとやっついていこうというふうに思ってます。その中には先日荒井さんもおっしゃられた廃棄物の体制もちょっと作ってますんで、
1:03:28	そこを見ながらやっついていこうというふうに考えていると。
1:03:32	ということになります。
1:03:34	ちょっとざっくりですけども、以上になります。
1:03:40	古作です。
1:03:44	次瀬田伊井の方はしっかりと把握を強いリーダーシップがとれるようになってもらえればと思うんですけど。
1:03:52	作業部た飯野施設課、それぞれ張りつけていうのか、どれぐらいになるのか。
1:04:04	1件一葉というような話でしたけどそもそも今代表差分っていうところの議論ができていない中で、

1:04:12	どれぐらいの量が必要になるかっていうところもあるので、
1:04:18	現時点で足りてるのかって言ってもしょうがないところはあるんですけど、
1:04:23	どう進むメールのかなってというのがちょっとよくわからなかったんですけど、もうちょっと補足。
1:04:31	菅です。
1:04:32	おっしゃる通りでして、代表機器が決まらないと、
1:04:37	なんすかね、施設課の作成者も
1:04:40	フィックスしないというのはおっしゃる通りです。
1:04:43	で、その中で、一応社内的にははですね、これが代表じゃないかっていうリストは、
1:04:51	作ると、いうことやってまして、ざっくり 100、
1:04:55	グループ 7 まで通せば 100 弱ぐらいあるのかなというのが相場感でして、
1:05:00	それに一人一人名前を入れて、経験者とグループ単位でですね、経験者と、若葉マークっていうのをちゃんとこう仕分けてですね、
1:05:12	そこの若葉マークのところは、それなりにこ入れしながら作っていくっていうやり方をしようかな。
1:05:19	いうふうには今思ってるということです。
1:05:25	はい。補足です。状況はわかりました。
1:05:27	石原さん僕そのグループ 1 の時って機器数幾つって、
1:05:32	いう言い方できます。
1:05:36	グローブボックスって言ってたのが、あれ、でも基礎数えた。
1:05:42	別添に載ってた参考だっけ。
1:05:45	はい。
1:05:47	一瞬あのテキスト言えます。何、何機器って確かもともと、
1:05:53	整理してたんで、
1:05:56	調べてみます。はい。
1:05:58	今後ですねそのボックスの実績なんかも踏まえながら
1:06:03	話をしてもらえればなと思うんですけど、最初に廃棄物管理の母数は多いんですけど、累計とる等、そんなに種類がある。
1:06:13	わけでもなくってということだと思うので、代表数はそんなに変わらずに、何ですかね、機器の
1:06:21	ものによって違うと思いますけど、変わらずにつくれるんじゃないのかなと思っていてですね。
1:06:28	なので、また次の代表者分の整理の中でどんな感じになっていくかというのを明確にしていければな。

1:06:37	ます。
1:06:40	はい。
1:06:50	はい、規制庁、細川サンポツジ関係。
1:06:54	よろしいですか。
1:06:56	なければ 3、
1:06:58	配信系。
1:07:01	あみじゃないんですけど資料。
1:07:04	うん。
1:07:05	010203 とか、
1:07:09	0 ポツBポツっていうのは、
1:07:12	西郷の
1:07:15	何か基本踏襲してるんですけど、
1:07:18	その下の階層のC1Cになると、う違う、もうこれ今回オリジナルの持丸と言いつつ、C値は前は何かだけな。
1:07:30	3 軸圧縮試験のことタブチ 1 っていうんですけども千野椎名ですけど、何で外の対応が切れちゃったんであれなんだ。
1:07:39	なんで、そこはちょっと、
1:07:41	して、
1:07:42	工夫した方が多分、
1:07:45	これ、数回合せて説明した全体の中のここだけ進めるので、じゃあ、残りはどうすんのっていうところがちゃんと明確になって、
1:07:56	忘れないようになるはずなので、ちょっと踏襲して、次から作ってくれればと思います。
1:08:03	その中でステップあるものは、ちょっと工夫して、
1:08:08	はい、萩野でございます。失礼いたしましたアノをわかるように整理いたします。
1:08:14	はい。
1:08:15	他、
1:08:15	はい、古作です。ごめんなさい。今の話。
1:08:20	整理していただくとわかるようになるのかなと思うんですけど、ラップアップで話をしたのA. C西井さんって今かい。
1:08:31	で、
1:08:32	いる。
1:08:33	ところなのかなと思うんですねCEOの話もありましたけど、CEOは、ある程度その全体的に見てどう考えていくんだっていうので、追アノ大きな項目の一つなんですけど、
1:08:45	清に生産ってこれなんで分けてる。

1:08:48	ですか。なんか結局やることを限定してねえかっていうような気がしちゃうんですけど。
1:08:53	前の方でございます。一体ものであるのっていうのはおっしゃる通りです。で、
1:09:01	他方は、まず江崎磯
1:09:05	グループ
1:09:06	あれセット12グループでのデータがオオニシが必要の中にどうであるかそれからヒガシ様の相互関係がどうであるかっていうのは、これまた形検討の項目であるし、それとは、その紐づく。
1:09:23	いうなところの分析が必要だよねというところで、ちょっと高シノ子供。
1:09:29	そうなるのかなと思いつつ前の会合でもお話いただいた、重要な論点でもあるんでちょっと分けてしまいましたというところでございます。
1:09:39	はい。補足です。C2の矢印で書いてあるところの文言が大分曖昧なので、不安感があったんですけど、しっかりと分析をされるというふうに思っていますので、よろしく申し上げます。以上です。
1:09:54	はい全然ノモトです。承知いたしました。
1:09:57	いいですか規制庁浜崎さんのこの資料今の話も含めて非常に読みにくい、見にくいですがけれども、ちょっと一つずつ確認するとですね。
1:10:06	コモリの提出時期との関係なんですけども、A-1から、
1:10:12	123、それとB-1、これに関しては1月18日の08でしていくと、第1条は提出という、まず理解でいいですか。はい。前年度分相当でポチの内容って、一応、工程表から見ると今月末終わってるような、
1:10:28	総務委員会なんですけども、これは資料下の時間がかかるんで1月18日の時点、要は21日は間に合いませんよと、今月、
1:10:38	いう。
1:10:39	ことなんです。はい。県の方でございます。特にさ
1:10:44	ですね
1:10:45	がまだ書いて、
1:10:46	進行中でございます。ということで今おっしゃる通りでございます。はい。
1:10:50	北崎です。今、野元さん言われた、キンカンができれば、これ各グループの地盤モデルですね敷地の特徴を踏まえた、そう。
1:11:00	前回の最後の最後のところ、これと単位体積重量のところは全部埋まってくると思います。ということで一歩前進するという、その資料が1月18日に提出されると。はい。いう理解でいいですね。はい。
1:11:12	それから、C、Cの市川関川。これについては、1月18日で、はい。椎野ニワ。

1:11:20	今月の 27。
1:11:23	はい、そうです。でいいですか。はい。
1:11:25	それから椎野さんから資料はこれ 1 月 18。
1:11:29	日野さんから昨日もそうですね。はい。Φナガタそうですね。
1:11:36	それとDにいてD-1 時、令和ニワ今月 27、こちらは 21 日に、検討方針と、でき高でファイナルアンサーといえますか。
1:11:47	追加での検討といったような強硬での速度測定といったようなことも申し上げておりましたけども、その結果そのものは 18 日でございます。
1:11:57	はい。はい、吉山です。今、器用コウと言われるのは、はい。梅田の新しい今回会合で、さらに久米田に関しては、追加という、
1:12:07	そうです。はい。古い方ですね。はい。そうです。それは、27 には間に合わない。27 ニワあ、そうですね。データの取得方針ですとかこういうふうなやり方をやっていますとか、いつ頃を示すというところで、
1:12:20	じゃあ、この場所だとか。はい。いう説明は 27 段階で出てくる。はい。そうですねはい。12 名、はい。はい。町長。
1:12:30	あとず。都丸さんについては、先ほどの話で、丸さんの情報の一部は 1 月の 18 日の提出資料の中に、はい。はい。
1:12:40	はい。いう理解でいいです。はい。はい。規制庁、
1:12:43	もう少しわかりやすく作ってください。申し訳ありませんでした。承知いたしました。
1:12:49	はい。以上です。
1:12:56	はい。
1:12:58	関係。
1:13:03	はい。じゃなければ、
1:13:05	いいわ。
1:13:07	はい。
1:13:08	次にでございます別添 2 で、
1:13:12	審査会合でのやりとりをさせていただきました最近、最初に廃棄物管理での代表設備をどう選定していくかと。
1:13:20	設定していくかということだと思って整理しております。
1:13:24	前回先ほど申し上げときましたが 11 月 30 日にお出しをしたものは、代表、設計要求とかあまり考えずに決め打ちで最初に決めたものを代表にして示している時点で
1:13:39	考え方とそごがあったかなと思ってます。
1:13:41	そういうことで類推を変えてます基本的 6 ページ、
1:13:48	そうですね表をつけてますけども、設計要求を、これも設計部って書いてあるかもしれない。

1:13:55	設計要求を踏まえながら、基本設計書の中身で何該当する、いわゆる設計項目の整理や添付 1 に書いたような、どの設計説明文が関係するか。
1:14:07	それに対してどういう説明をしなければいけないから、代表をどこにするかという整理を要求事項との関係でしっかりと一つ一つ洗い出していく必要があるということだと思ってます。
1:14:18	例えば 7 ページでいくと竜巻で④番みたいなものできますけど、これがこの間お出しをした北川 1 みたいなものは構造強度を確保してっていうところで、波及関係の中で代表として、建物構築物を出しつつ、
1:14:31	資料 3 にバトンを渡していくということが必要な項目なのかなというふうに思って
1:14:37	この要求事項との関係で今外傷関係と通り何を、資料 2 の段階で代表にセットするかということを示しつつ、ただ、
1:14:50	当然ながらこれ資料 3 にバトンをとったときには資料 2 の段階で設計説明分類で代表のやりとりをした後は、他で代表で選ばなかったものも、差分としては説明する必要があるれば全部、
1:15:02	説明を資料 3 の①でしていくということが当然ながら、前提として考えて整理しております。
1:15:08	加えて、例えばですけど、7 ページでいくと竜巻①番から⑥番までありますけど、例えば 0 呉、
1:15:18	3 番の中にも建物構築物がありますけど、構造強度はいわゆる確保するというのであれば、①番の中で説明をしていけば十分成立するんじゃないかということも含めてその関係性というのも含めて、
1:15:30	代表設定を整理していく必要があるということで今、
1:15:33	進めていると、整理を進めているところでございます。
1:15:36	はい。
1:15:38	加えて、11 ページ目にありますけど、その設計要求との関係での代表であったりあとはそのそれぞれの設計要求出てくる設計項目。
1:15:50	配置設計だったり構造設計だったり、システム設計だったり、
1:15:55	どちらかというと配置設計が多いのかもしれないけど
1:15:59	それぞれ配置設計を小出しにしていくというどこかでまとめて全体像を示すような、大やりとりですね紐付けということでの、はい。
1:16:08	類似性を含めた代表っていうんですかねというのを、あわせて整理が必要だということで認識をしています。これ
1:16:18	竜巻の方では、添付 2-2 だったかとかでやっていたと思いますけど、そういう作業を他の項目でもしていく必要があると思ってます。

1:16:26	こういう形で資料2で代表を設計説明文の名称で代表を選んだと西尾さん、12ページですね、資料3に持ち込むと、その設計説明文の中に当然いろんな形のタイプの設備がありますので、それも要求事項を踏まえながら、
1:16:42	何を大事にするかということを考えるということだと思ってます。
1:16:47	で、
1:16:50	供給委員の再処理廃棄物の説明の中でもあった、今現状、11月30日したやつは、廃棄物管理が全く代表がない状態ですけども、
1:16:59	このポツ下から二つ目に書いてある通り廃棄物と再処理が同じであれば、廃棄物の特徴の形が設備があるのであれば、そちら廃棄物を代表にして説明するとかですね。
1:17:10	そういったことも、考えていく必要があると。
1:17:13	いうふうに思ってます。
1:17:15	で、
1:17:16	あとは個別アンケート一番最後書いてますけど、以前から議論というか、指摘をいただいている外部火災みたいに、はなから外部火災の評価としての考えたときに、
1:17:28	代表っていうのをおのずとベースの考え方があるものは、それオカ考え方を踏襲して、代表の選び方を井清としていくということも必要かと思ってます。
1:17:39	今回、お出ししたものはあくまで一律で決めたところでこういったことも全く関係なくやりましたんで、そういったところはケアしていかなきゃいけないと。
1:17:48	思っているところでございます。
1:17:50	はい。
1:17:51	全体こういう形でまだちょっと3ポツのところの資料3の部隊を名2位をセットするかまで書き切れてないのでそこまでやった上で、作業側に説明し、あと渡していこうというふうに思ってます。
1:18:05	先ほどあったSAもですね、言ってみれば、おっしゃる通りで、この中で、
1:18:12	竜巻であれば、屋外の防護設計のところに屋外の、
1:18:18	はい。SA設備っていうのを当然入れながら、サブも、SA特有の要求事項があればこん中に合わせて、代表として選べないっていうのは考えて整理をしていけばいいのかなと。
1:18:29	思ってますし、①番なんかはもう当然ながら、SAを収納する建屋っていうのもあわせて、同じようなことでしようと。

1:18:36	だから代表を選ぶときには、もう全部テーブルに並べた上で、どれを選んでもいいって言うかもしれませんがそういうやり方をしていくということかと、いうふうに思ってます。はい。
1:18:46	なのでお客さんからあったSAも入れて当然考えるべきというのは、おっしゃる通りだと思うので、そこも含めて、最後の資料3での代表と、
1:18:55	というような考え方も、につなげていくということで、作業者にバトンを渡せるようにしていければと思ってました。はい。説明以上です。
1:19:10	規制庁の荒井ですけど、まずこの別添2の
1:19:15	目的というか、これって各作業者に示す指示文書みたいなものとして使いたいってことなんですか。ニシナでございます。これ、ガイドに入れるつもりです。ガイドに入れて説明しようかな。
1:19:27	はい。それで続いて、体系的なこと言えば代表を絞り込んでいくプロセスって、結局、原燃内でどういう作業分担、
1:19:37	なるんですか。
1:19:39	はい。
1:19:41	えーとですね、人間者でございます。
1:19:46	代表を選ぶまでは、一律、すいません。
1:19:49	私ども許認可業務課でやろうと思ってました。はい。それでもう一斉に作業が谷指示を出すという形でやろうかなというのが現状です。はい。
1:19:59	はい。それでは代表の最初の設計説明分類の話は、多分千原さんとかでできるのかなとは思っているんですけど。
1:20:09	最後の
1:20:11	分類内での代表っていうのは、どうやって絞り込んでるんですか。
1:20:18	結局材料がないと絞り込めないと思うんですけど、そこは何か施設課の協力とかいるのかなという所でございます。おっしゃる通りです。施設間の協力ないと。
1:20:30	バツがそろわないのも当然あります。例えばですけど、波及の話で屋外の機器に対しての波及っていうのを、個別にやらないといけないものでは、ナカノ設備の設計がわかんないと。
1:20:42	どういう代表にしようかな、グルーピングどうしようってのは決まらないので、そこはおっしゃる通り、
1:20:47	ただ、
1:20:50	何ていうんでしょうね。
1:20:52	施設課と同じぐらい。
1:20:54	情報は理解をしているということを前提に会をしようと思ってますけど、はい。
1:20:59	背信行為。

1:21:01	それであとはこの資料でいうと、ちょっとグループ 1 に特化してるような整理になってるんですよ、1 ポツモンマサンポつて飛んで手に取ってないんであれなんですけど、
1:21:12	グループ 2 行への、
1:21:15	展開を見据えた視点の整理っていうのも担当の方がいいのかなとは思っていますね、例えば今回だと、防護設計の話とか、
1:21:25	評価対象部位の話とか、そういう外部事象に特化した、
1:21:30	特殊性みたいなのがあって絞り込んでるプロセスなので、例えばグループ 2 で溢水の話がありますってなったときに、
1:21:38	そこはどうやって、代表のものを、代表っていうのは、ここで言う代表っていうのは資料 3 に、どで表していくかっていうところだと思うんですけど。
1:21:48	どういうふうに表示していくのかっていうのが、ちょっと先の話ですけど、はい。見えるようにした方がいいのかなとは思っています。
1:21:57	はい、西田でございます。そうですね。資料に資料 3 での、
1:22:02	代表の選び方の考え方とプロセスの話と、例示の話ということで仕分けをすると、グループ 2 以降の話も考えながら、セットでいくというのは、
1:22:14	それどうやってもいいので、もう少し整理をしていければと思います。
1:22:17	はい。
1:22:21	あとは結局、これで代表の選定の考え方っていうのが書いてあってですね、差分っていうのがあんまり出てこないんですよ。この資料の中で、例えば
1:22:35	最後の 12 ページ目っていうところの、
1:22:39	最後の黒ポツの個別案件における代表設定の考え方ってこれって差分の個別というか差分の話なんじゃないのかなとかって思ったりとか。
1:22:48	あと差分押せどう説明するかっていうところはあんまり、
1:22:52	早いかなあと思ったのが感想で。はい。
1:22:57	はい。乳井ニシダでございます。最後のやつはどちらかというと代表を選ぶときの個別項目として挙げるべきものを挙げただけなので、サクライとは若干違うかなと思ってますけどおっしゃる通り
1:23:10	差異がある場合には差分として示せと書いてあるだけで、差分をどう扱って、どういう示し方をするかは、もう少しケアできるように、ガイドに入れるときにも考えていきたいと思いますが、はい。
1:23:23	これ、個別案件っていうのは、設計項目を立てるじゃないですか。はい。それがもう個別に絞られてるっていう意味で個別案件で付けつけてるんですか。えっとですね、2 オギニシダでございます。この凸そうですね位置付けが不明確でしたね。普通、上から三つ目で、

1:23:40	代表を選ぶときの基本的な考え方を、三つ目四つ目ですね、語ってるつもりなんですけど、とはいえ、もう明らかに代表を選ぶときの考え方、決まってるよねっていうところ今個別で挙げてる。
1:23:55	のでちょっと上との関係をもうちょっとわかるように書きます。外部火災みたいにもともと、
1:24:00	代表的も設計の中でもすでに代表を選んでみたいやり方してるものは、それを当然踏襲するんでしょうと。
1:24:07	いうことを含めて書いているだけなのでちょっと上との関係をもう少し整理をして、誤解がないようにできればと思いますそうですね。上のす例えば3ポツの、
1:24:18	ディーゼルの話だったり収納課長はないけど、何が違うんだろうなっていうのは、その中で出てきた個別案件なのかなって思って、差分なんじゃないのって思ったってだけなので、
1:24:32	あともう一つ懸念してるのはですね、やっぱりこれ、グループ1の防護設計系の話なので防護対象設備系でいわゆる安重設備ですよ。
1:24:43	アンリユウ設備っていうのは、結局申請書の中で、評価まで一貫通貫で示すっていう観点で、
1:24:50	累計という意味では情報が、
1:24:54	多くて、楽。
1:24:56	なんじゃないかなと思ってるんですけども、非暗示を含む条文ですね例えば案いうとか、
1:25:02	ていうところのおしぼりかも。
1:25:04	方っていうのも、先ほど溢水の話もしましたけども、どうなるんですかっていうのを聞きたくてですね。
1:25:11	はい、乳井城でございます。今、グループ1なんかで出てくる安重以外のものっていくと今パーツはもう12ページの個別案件には書いてるもの、防護対象以外の範囲をですね、に対して、
1:25:26	代替設備でその機能を確保するか、安全上支障のない期間で、宿題になってますけど期間で、交換として機能を維持するって書いてあるところ、これは、
1:25:37	こういうものがあれば、当然代表選び方は代替するっていうのと、
1:25:43	予備品ランナーに交換するっていう
1:25:47	当然グルーピングあるので、それぞれのグループで、どれが代表を選んで、これはどちらかという、誰を選んでも多分反対は一緒っていう話なので、どれかを選んで説明すると。
1:25:57	ということで勝ほかこんなのがあってって、以下同文ですっていうのがわかり、補足説明資料がついてくるみたいな話だと思ってます。了解で

	す。そういう意味だと、どれを選んでも同じっていうのは多分あると思うんですよね。
1:26:10	そういう視点も入れた方がいいのかなとは思っています。
1:26:14	はい、米田心愛コサクです。ごめんなさい。どれを選んでも一緒の方針ではありつつ、SAを選んでいきます。
1:26:22	はい、わかりました。
1:26:25	はい。
1:26:31	迫です。そうすると、説明が集約できるでしょう。そうですね。はい。
1:26:36	わざわざ非安重説明した後SAで同じことやります必要ないので。はい。
1:26:42	はい。よろしくお願いします。
1:26:49	そういう意味であれなんですが、SAを選ぶ考え方っていうのは、12ページの3ポツの最後の
1:26:55	2行目、2行特殊性コウノ設計の中の最後。
1:26:59	設計条件追加というところで、
1:27:02	ちょっと一つ飛び抜けるっていう
1:27:05	形になるのかな。
1:27:07	もしくはあれですね、また書きのところをもうちょっと丁寧にケースを通して書いてあげるっていうのが必要かもしれません。テーブルのスタッフのどれ選んでもいいって場合に、
1:27:20	DBの世界でどう選んでも良いいっていう話なのか、全体を含めてどれ何でもいいって話で、どちらを選ぶかの選択肢は優先順位をあらかじめ決めておくと。
1:27:32	ということかと思しますのでそういったところに入れていければと思います
1:27:37	基本の着眼点は網羅性なんですよね大体。
1:27:40	そっから、
1:27:42	どれ選んでも同じだったっていう場合に、これを選びましたっていう理由がなければいい。
1:27:49	古作です。私もそう思ってますけど。
1:27:54	3、
1:27:55	うちの三つ目のポツの代表についてはと書いてあるとのコウ。
1:28:01	考え方の一つに網羅性って書いてあって、
1:28:05	類似性特性とか、いろんな言葉が並んでるのが、余計何かわかんない。
1:28:12	ちゃうんですけどここもちょっと体系整理してもらえないですかね。はい、宮城石田でございますはい、承知いたしました。おっしゃっている。
1:28:21	ところが何か誤解がまたうちの中でも生まれそうなので、ここをちょっと体系的に整理をしていきたい。

1:28:31	はい。で、
1:28:32	それと、それですね、
1:28:35	まず類型として、類似性を踏まえながらまとまりを作りますと。
1:28:40	そう。それで一通りの説明ができそうなものを、
1:28:47	選びます。
1:28:49	ですけど、それだけでは全部を説明できないので、残り分をもカバーできるようなやつをもう一つ選んだりして、説明項目が一色説明できるようになるべく少ない数でやっていきたい。はい。
1:29:05	ていうのが大きな基本思想ですかね。はい。その通り。
1:29:11	はい。
1:29:11	その上一通り拾っ谷イセを、
1:29:18	同じとは言い、言いつつも特殊性があるとか、何らかの
1:29:25	これは説明しないとねというようなものがあればそれはピンポイントで抜き出していきます。はい。ってことですかね。はい。
1:29:34	はい。
1:29:36	最後の改造の有無等についてはその次のポツの新規の設備等というとの関係をちょっと整理しないといけないかなと思うんですけど、これはどんな感じで言います。
1:29:47	はい、井手一緒でございますそうですね。私もコウは、かなりふわっとしちゃうんで、ちょっと整理をしなきゃなと思ってるところです。改造する。
1:29:59	ことで、%
1:30:03	設計の配慮だったりを、説明するに、十分なさっきのまとまりの中での網羅性ということになるのであれば、最後の一通り説明できるの中に全部入っちゃうような気もしないでもなくて、
1:30:17	これを徳田しで出す必要があるのかどうかってのは若干まだ、整理が上手くいけないところです。
1:30:24	はい、保坂です。1点あるのは、
1:30:28	あと再処理の方の竜巻だったりなんなり、改造として、新規だとコウは作らないよねっていうようなものは明らかに説明ポイントになる。
1:30:40	ですよ。それは網羅性なり特殊なりという表現で入ってくるのかもしれないけど、大事な視点だろうというふうに思います。
1:30:51	で、新規に作るのと全く同じですってなれば、確かに上げなくてもいいのかなとは思いつつも、改造物がありますっていうシグナルは出した方がいいんだろうなというふうには思い
1:31:06	はい。乳井インダでございますはい。ありがとうございました。いたしました。おっしゃっていただいたように資料2でも資料3でも、関係するところで改造ある場合は、

1:31:16	改造ありっていうフラグも立ちバスの責任かの変更として、
1:31:20	そういうところのリンクも含めて、どう整理していくかってところでもう1人 させていただきます。
1:31:42	規制庁岡です。ちょっと私からも確認なんですけど、まず、
1:31:46	1ページ目の1ポツのところ、
1:31:49	二つ目の黒丸の、
1:31:56	それも部位の話になっていて、設備単位で何かこう、選ぼうとしてる時 にまず部位があることで、
1:32:05	抽出されるというその関係性でどうなんですかね。はい、乳井西原で ございます
1:32:13	ちょっとこの頭の整理が要るかもしれませんが前から申し上げたように 資料の段階で代表を選ぼうとしてもですね、
1:32:20	どうしても資料3で何説明するかっていうのを考えて、
1:32:24	施行しないと、代表を決めるにもなかなかというところがあって、
1:32:29	そういう意味で、どこまで資料3で説明するフェーズに踏み込みながら 代表を選びに行くか、かと思います。
1:32:36	そういったことも、今回資料2の段階でのと同じようなものが並んだとき ですね、代表選ぶかっていう視点に入れておかないといけないのかなと 思って私としては今書いてると。
1:32:49	はい。ただマップはいえ、ちょっとまだこれ文章読んで理解しようという なかなか難しい気もするので、もうちょっと文章の形はします。はい。は い。おそらく説明する部分がたくさんあるものを、その代表設備
1:33:05	まずは、
1:33:07	城さん。
1:33:09	そこまで見て、
1:33:10	決め、またフィードバックしながら、
1:33:13	調整していく。
1:33:16	あとこの資料で使っている先ほど、
1:33:21	類似性、
1:33:23	これはどういう、
1:33:26	何かの社内で定義とかなってる。
1:33:29	ですから、人によってばらけない。
1:33:32	はい。
1:33:36	弓削西尾でございます。どこまで類似だというか、まだちゃんとした定 義、どちらかというところある程度の%なんですよね。
1:33:46	ケースの母集団を固めて、そこに対して、こういう部分までは類似性だ と類似してると言っても構わないとかですねそういった

1:33:56	パターンを作らないと、ばらけるからすいませんコサクですね。
1:34:01	先ほど少し言ったんですけど、類似性っていうのを何か判断基準にしないほうがいいですよ。なるほど。はい。類似性はある程度のパターンなり何なり骨格でまとめていこうっていう。
1:34:13	枠の話であって、はい。代表なり説明機器を特定するっていう時に、
1:34:19	これでいっても、誰しものが半分できなくなるので、
1:34:23	差分があるのかないのかっていう判断の基準として何か違う言葉を使った方がいいと思います。はい。以上でございます。はい。ありがとうございます。承知いたしました。
1:34:40	補足です。その意味でも今話のあったところの二つ目のポツのや、矢印二つ目で、
1:34:48	類似性があると考える場合は、いずれかの代表でって言われても、類似性で、いずれかで判断は無理があって、その中に差分があるかどうかというところを見ないと、
1:35:01	触れる触れないっていうのを触れなくていいっていう判断できないっていうことだと思って、そういう趣旨でお話しました。
1:35:09	はい、与儀西平でございますはい、承知いたしました。
1:35:17	規制庁岡です。その下のとる点の資料3で評価の抵当として、
1:35:25	これの、
1:35:26	一つ目の矢印の波及的影響等の評価っていうその、
1:35:30	どこまで含む。
1:35:32	楽しみ。
1:35:34	等がどこまでっていう話なんですけど、はい。
1:35:40	今後、はい。
1:35:44	はい。
1:35:45	そうですね。波及影響以外にもMOXでは評価からさかのぼったやつがあったんで。うん。一応等はつけましたけど、全体分ってどうつけているのかというと若干高アノ、
1:35:58	まだそこまで行けないところ。
1:36:00	整理をして、はい。どういうものが、そう考えるべきもので、具体の例示が何があるかっていうのを考えて、はい。示していければ、
1:36:08	はい。
1:36:11	古作です。
1:36:13	そもそも0.
1:36:17	なり、
1:36:18	今の矢印の部分なりが意味がなしてないなと思ってて、
1:36:23	文末は上述に加えて代表って言ってんですけど、そもそも、

1:36:28	説明項目一式挙げて、それで網羅性を持ってピックアップすると言えば、当然加わっているはずです。そうですね。なんで徳田CCDP言わなきゃいけないのか一つ目のレ点と二つ目のレ点、何が違うんだと。
1:36:43	ということのような気がするんですけどどうなってます。
1:36:46	はい。乳井ニシダでございます。ちょっとMOXでいろいろウタばかりながらイタレーションしてたやつが、まだ私の頭の中で残っていたのでこう書いてますけど、それと
1:36:58	今回、設計項目の網羅的な抽出っていう段階で当然評価っていうことも抜け漏れなく、まず選んでくると。
1:37:07	それを設計基本設計方針の要求事項を踏まえてピックアップして、
1:37:11	それに関係する前提になるような構造設計もちゃんと漏れなくやりますよっていうのがまず、資料3、23の作り込みの前提だと考えるときには、このレ点の意味はないですね。はい。
1:37:24	はい。補足です。なので、
1:37:28	一つ目のレ点はまず方針として、プラス評価を踏まえてシノ視点っていうことで書かれたということでは理解をしつつ、
1:37:39	結局はそういう表、説明しなきゃいけないことっていうのをしっかり抽出した上で、
1:37:45	それで網羅性を持った説明として代表できるものをピックアップしていくということだから、入口の部分なので代表それぞれ選定しますになっちゃうと、代表が無意味に増えちゃう。
1:37:58	ですね。
1:37:59	なのでちょっとフェーズをちゃんと分けて書いていただけると。
1:38:14	1オオオカです。
1:38:15	あと今回まとめてもらったこの表の見方なんですけど、二重丸の代表でやります、或いは、
1:38:28	代表として、
1:38:30	はい、藤江西田でございます。はい。
1:38:33	横に一つ一つ、横に見て行って20万円のところが、代表が、
1:38:45	やっても、
1:38:45	今後、社内に配るにしても、
1:38:48	価値をつけてわかるよ。
1:38:51	これそれぞれ丸で抜けてるやつを何で抜けたのかっていうのが、書かないと理解をしてもらえないところもあるんで、はい。そういったところを追加していければと思います。
1:39:01	はい。そのあとにこの竜巻と例えば降下火砕流

1:39:06	で、同じような評価、
1:39:09	するところが多分、
1:39:11	いうところを、また再度一つとして、
1:39:15	いろんな矢印の場所でやっていくってそういうことを、
1:39:18	の前提となるような、整理を今されてるっていうこと。
1:39:23	はい、西田でございます。はい。おっしゃっていただいている通りで今現状でも、火山の中で、同じような話は、関連づけてどっかで合わせて説明しますって言ってますけど、
1:39:34	カガワだけではなくてこれ竜巻火山とか全部合わせて、同じような話は、
1:39:38	どこかで合わせてやるっていうことはできると思うので、そういうことも、施工していかなきゃいけないと。
1:39:45	はい。
1:39:47	一応、
1:39:49	Headが聞いてないので、コサクです。私もそう思っているのですがそもそもこの表いるのかっていうこと自体がちょっとよくわからなくて、はい。
1:40:04	特にその①ですよね。
1:40:06	建屋に収納してといったときに、
1:40:10	各外部事象であればすべてにおいてこのポイントは出てくるということ、どこかを代表としてという、
1:40:18	ことでもなく、全体としてまとめていくんだらうなって思うと、
1:40:24	こう分けて書いてるからそう面倒くさい話になるんであってっていう気がしてですね。はい。11 ページの表の後の、
1:40:33	レ点で書いてはいるんですけど、
1:40:37	入口ちゃんと整理すればこんなこと書かずともおのずとっていう気もするんですよ。はい。
1:40:44	そのあたり、何かうまく整理できないと思ったんです。はい。
1:40:49	はい。
1:40:52	考えます。はい。おっしゃっていただいています。はい。
1:40:58	はい。全体通して、もうちょっと、
1:41:03	全体の流れっての考え方思想がわかるように、整理をしていけば、
1:41:09	はい、補足ですよろしくお願ひします。一方で、説明項目として漏れがないようにという意味では、
1:41:18	分割して考えていてもとは思いつつやはり際、先ほどお話したように、

1:41:24	説明スルー機器を抽出するっていうのは全体を見てこれが一番いいよねっていうことなので、個々の事象で一つ一つ代表を選んじゃうとおかしくなるんで、その辺りを、
1:41:37	どういうプロセスを組んで話をするといいかなというふうに思っています。
1:41:45	はい、乳井西原でございます。はい、わかりました。
1:41:48	さらにちょっとぜひ進めたいと思います。はい。
1:41:54	規制庁からです。あと最後、個別案件の先ほどからちょっと、
1:42:00	言われている12ページのところで、一番最後の、二つ目は外部火災はもう独立して、
1:42:08	叶う。
1:42:09	はい。はい。
1:42:11	はい。院長かしこまりました。
1:42:15	最後の竜巻のところのサイトウという意味は、
1:42:22	言うのは、奥さん、どこでも一緒だけやっても、買い手皆まだもうこんな違うかなと思うと、はい。
1:42:29	案外新しくなっても同じことはない。結構急な、はい。
1:42:36	ちょっと会やりたいのは防護対策の有無と防護対策とあと開口と、
1:42:42	タテ野瀬タテナカセ設備の関係ですね配置どういうふうな考え方で、影響がある内容いかとか、こういう場合は対策設備つけますで対策設備側に、こういう設計上渡しますみたいな連携がわかるようなものを建屋として選べれば、
1:42:57	それはどこでもいいかなと思います。はい。院長それでした。はい、理解しました。
1:43:01	以上です。コサクですけど、今のは、おそらくボックスのときに、
1:43:07	飛来物がどこまで侵入するのかっていう話を舞台にしていったところを念頭に置いているのかなと思ってて、
1:43:16	そういったところで構造に、
1:43:18	複雑さが違う云々というよりは、何らかその形状が違えば、それぞれを上げておいた方がいいのかなと私も確かに思っていますね。
1:43:27	その点では
1:43:30	一通りどんなものがありますかって、それをこれで説明できてますよねっていうのを説明するようしてもらったらいいかと思ってます。
1:43:39	はい。乳井ニシダでございます。いたしました。はい。
1:43:43	あと個別補足との関係も含めてどう整理するかってとこだと思うのはい。それも別途整理できればと思います。
1:43:58	古作です。ちょっとまた戻って6ページ、

1:44:03	丸の三つ目ですけど、
1:44:08	先ほどお話したところですが方針ごとに代表の整理を行っていくのではないでしょうって思ってるんですけど。
1:44:18	はい。人間ニシダでございます。
1:44:21	これだと、
1:44:22	私の思考回路がどうしても1回選んで合体するみたいなイメージで書いてるので、そうではなくてプロセスとして、初めから、まずは設計項目を網羅的に出しつつそれに対しての、
1:44:36	要求事項をどう説明するかというのを見ながら、それで同じ、網羅的に説明できるものだねみたいな話を、全体通して見ていくっていう試行でちょっと頭から整理をしていければと思います。はい。
1:44:49	今のところ書いてあるコサクです。おそらく、はい。
1:44:53	これも資料作成の意識が強くなってっていうことだと思うんですけど。
1:44:58	資料共通中に資料2を書こうとすると、方針ごとに何らか変えていかなきゃっていうことになるんですよ。でもそうすると、
1:45:08	代表って、網羅性として議論ができなくなっちゃうっていうことなんですよ。
1:45:14	なので。途中で石原さん言われたように、
1:45:18	その作業をするためにも資料3からも考えながらっていうことは、結局その資料3って条文ごとに作るわけではなくて、機器ごとに、
1:45:28	その機器が関係する要求事項説明項目を1セキ並べると。
1:45:35	ということですから、その視点を持ってここで対応される必要があるんだろうというふうに思います。
1:45:43	はい、与儀西田でございますはい。ありがとうございます。ちょっと全体、そういう視点でもう一度整理をしていきたいと思います。はい。
1:45:51	はい。補足です。そうしたものが、資料2にフィードバックをかけて、明確にしていくと。
1:46:02	ということだと思いますので、その意識で対応し、していくつものようなので、整理を進めていただければと思います。
1:46:13	そういった点、表も、何でこんなに細分化してみたいな感じが見えるということ。
1:46:22	SC衛藤代表の設定のところの書きぶりも、そういった面で公開を与えるものが多いなあ。
1:46:30	ふうに思っています。
1:46:34	具体的に確認したいのは、7ページの
1:46:44	0一井竜巻01D、一重丸の方なんですけど、
1:46:51	これって、

1:46:52	設備として代表にしませんよっていう意味からするとよくわからなくて、屋内機器の配置は必ず説明しますよねということで、
1:47:03	はい建物構築物の二重丸の中に入りますってことですけど、はい。
1:47:10	その通りです。うん。ていうのがちょっと説明が曖昧だなと思ってるのと、②も同じで、
1:47:17	屋内機器配管を説明する際には、
1:47:21	建物構築物でどういう開口が開いているのかそれがどうスキームまで繋がっていくのかって説明もいりますよねと。はい。
1:47:29	ということで、
1:47:33	結局資料3を見越す見越してっていうところをもうちょっと具体的にしてもらおうといいかなと思います。
1:47:41	はい。人間のイシダでございます。はい。まずは、⑩番つけたときの考え方が全く書いた今20万って書いてるんで、そこをちゃんと解説できるようにします
1:47:52	おっしゃっていただいた通りで①番は、屋内機器の配管の配置は、建物構築物側に合わせて全体を説明するつもりなので、20万の建物構築物が抜けてますけど、
1:48:04	実際全体の説明はちゃんとすることだと思ってます。②番も、逆パターンになってるだけだと思ってますのはい。そういったことの方なりを、ちょっと頭のほうでちゃんと言ってですね。
1:48:16	全体整理していくということかと思ってます。はい。
1:48:21	はい。コサクですよろしくお願ひします。
1:48:25	③については、これ、建物構築物って何。
1:48:30	何屋外の棒を設計ってそもそも何なんだろうっていうところからここがマルついてる意味がわかんないんですけど。
1:48:37	これは、
1:48:38	主排気塔だ。
1:48:41	気がします。
1:48:44	廃棄登録ですね。はい、屋外、例えばコウタケモト大河内物入って、あと次の建屋もう今、③番に入ってる場所があります。
1:48:56	そこも含めて、ちょっと今、丸のつけ方、うまくないところもあってもうちょっと整理が必要かと思ってます。建物構築物の中に入っている安全の建屋であれば、①番で言ってる変わらないんで、やることは、
1:49:10	①番の中で、合わせて説明するというのを、全体統合して説明していくってことかなと思ってますし、

1:49:17	あとは今、自分でしゃべりながら所は生きたところに入るんだってところを考えると、今何か抜けた時もあるので、その辺ちょっと全体見て、整理を進められればと思いました。
1:49:29	はい。コサクですわかりました防護対象施設というところの、
1:49:36	時に建屋が入っているということで、理解しました。
1:49:40	その次の④
1:49:43	は屋外機器配管に波及影響を及ぼさないっていう説明になってるような感じがしちゃってよくわかんないんですけど。
1:49:53	これが、
1:49:55	波及影響を受ける被害者側として書いてあるんですか。
1:50:05	はい。日本原燃伊勢でございます。これは、
1:50:15	あ、屋外のダクト、ダクトなんですけど、
1:50:21	そうですねは旧イナダとおっしゃる通り加害者被害者の関係があるので、ちょっともう、もうさらに整理をしないと、頭がおかしくなりそうですね。なんか、皆が誤解そうな気がするのでそこは整理をいたします。はい。
1:50:36	はい。誤開も何もわからなくて、さらに、屋外のダクトだって屋内で代表できますって理解できないんですよ。
1:50:48	ですね。はい。
1:50:50	はい。
1:50:50	コサクですなので、ちゃんと何を説明するものなのかそれがどう、どこがどういう説明で満足できるのかと。
1:51:00	いうことをもう少し具体書いていただかないといけないのかなと思ってます。
1:51:05	で、⑤なんですけど、他のところにもあるんですけど何でキャスクって徳田されてるんですか。
1:51:13	これはちょっとだからそういう意味でははい、日本イシダでございますこれは、私が完全に6ページ的设计基本设计方針ごとによって言った部分を大分、
1:51:25	ばくつと書いたところが、失敗です。はい。おっしゃる通り、①番と一緒になんですよ。言ってることは大した変わらないので。はい。
1:51:33	項目出した時点ではい。
1:51:35	考え方がおかしかった気がします。はい。
1:51:39	はい。そうだと思いますので整理をしてください。
1:51:45	それ、
1:51:48	等、
1:51:50	それ以降の事象はほぼ以下同文なので、

1:51:55	あれなんですけど、ですね 8 ページの危険物貯蔵施設と言ってるところわあ、これ外部火災で大きくは、
1:52:06	まとめずにこれ徳田した理由は何ですか。
1:52:13	1 ページ。
1:52:17	結局は何か、その前の備蓄基地もそうですけど、説明項目で特異なものがあるんでっていうような感じはするんですけど。
1:52:27	はい。宮城の石田でございます。外部火災すいません。完全に、
1:52:32	和気スギタンがあつて、設計要求ごとについて整理しちゃったところは、はい。あります。
1:52:40	外部火災全般で多分いえることは共通だと思うので、そういった部全体のまとめができると思います。そういうこともしていかなきゃ。
1:52:50	はい。補足です。それで整理をしていただきつつですね、9 ページの敷地内の危険物貯蔵施設、
1:53:01	とか 11 番の爆発とかですね、何を説明する項目なのかが全然わかんないんですよ。
1:53:08	これ何ですか。
1:53:10	はい、日本インダでございます。危険物貯蔵施設を悩んで項目立てておりましたけど、設計情報として敷地内の危険物の火災とか 6 月の
1:53:21	前提になる、設備の設計を説明せんとあかんのこれどうしようかなっていうありになったやつを悩んでここにぽっと入れましたけど、これも全体の中での位置付けとかも含めて整理を進めさせていただければと。
1:53:36	あと
1:53:38	そうですね、危険物貯蔵施設の火災爆発と言いながら、頭に火災の話は一切聞かずに掲載爆発って言うてくる話もおかしいのではない。
1:53:48	そういう意味でも、全体整理がうまくできてないんだと思ってます。はい。
1:53:53	はい。補足です。おそらくこれも加害者被害者の関係のところじゃないかなと今聞いて思ったんですけど。
1:54:00	例えば溢水だ等 1 水源という言葉で言っ制限の設定云々ということから、ピックアップされるものがあるってということかなあとも思うので、
1:54:12	そのあたりも念頭に整理いただくと、先ほど最初の方にですね、アライからでしたね、グループにもう、にも使えるようにというところでの整理になるんじゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。
1:54:27	はい。上西アドバイザー。
1:54:32	古作です。で、外部火災すいませんもう一つ、その下航空機、
1:54:37	墜落火災が、
1:54:39	ありますけど、

1:54:41	これーが、
1:54:44	収納する建屋の防護設計となって
1:54:53	てって、
1:54:55	他の①と違く12番とされて、屋内機器配管にマーキングされていないということですけど、これどういう意味ですか。
1:55:07	はい。次にシェアでございます。
1:55:13	それでは、
1:55:15	まず設計として屋内機器、配管での影響も見みないといけないという項目になってます。
1:55:23	基本設計方針の立て付けを見ながら、書いたつもりでありますけど、その時点で私が抜き抜け忘れたかもしれませんし、そこはちょっと全体見て、整理していければと思いますタテアノ真横に落ちるっていうのが、
1:55:37	前提で、建屋の中の説明の中で屋内機器についても影響ないように、建屋の壁に対して何らか設計を課していたという気もしていて、現状、
1:55:47	前回お出しをしているし、
1:55:51	外部火災竜巻以外の事象であった説明グループ1の整理でも、屋内機器配管に丸をつけずに建物構築物の中に設計項目を立てて、
1:56:01	説明していたような気もします。その整理がいいのかどうかってのも含めて
1:56:07	整理していければと思います。
1:56:10	はい。古作です。外部火災の方で、
1:56:15	その熱影響としてどれだけ内側に入れるっていう得るのかみたいな話はしていたかと思います。
1:56:23	7ページの森林火災だ等、
1:56:26	それもあって屋内についてるんだと思うんですけど、森林火災でつくんだったら、今言われた直近で燃える航空機墜落火災でつかない、意味がわからない。
1:56:38	いう気がするんですけど。
1:56:41	はい。
1:56:43	もう一度、はい。業務設計を進和も確認しつつ、はい。
1:56:49	はい、古作ですよろしくお願ひします。今回こう分解したから気づいたってということではないかもしれませんけどよろしい
1:56:57	それで、整理をしていただくと。
1:57:04	空気、
1:57:06	勝手どこにあるんですか。
1:57:09	抜けてます。すいません最初に言わなきゃいけないと、私が完全に抜けてましたんで、はい。言えます。

1:57:16	はい、そうです。よろしくお願いします。ポイントだと思って。
1:57:22	原燃だけは特徴的な防護策を講じているわけですから、
1:57:28	枠は入れておいてください。
1:57:33	それ等、
1:57:38	全般にはなるんですけど、9 特に 9 ページの 161078 で書いてあるのっ ていう、
1:57:46	いいのか。
1:57:48	究極的に言うと 12 番とか 13 番とか、10、
1:57:53	12 番 13 番かな、これが余りにも、
1:57:57	広い意味合いでの防護設計ってなっちゃってるのでその内数に入っ てるような説明項目になってるんですよ。
1:58:05	そのあたり、何か、
1:58:07	どういう整理してるかってありますか。
1:58:10	はい。宮城インダでございます。はい。おっしゃっていただいていると今 基本設計方針例えば竜巻クロダでUIですね。建屋の防護設計で建屋を 今日構造強度を確保します。
1:58:24	で、
1:58:26	開口部についてはみたいな感じで流してアノセキ基本設計をしたわけ てるものを、逆に私が分けちゃったので、おかしくなってますけど、設計の コンセプトとしてはおっしゃる通り、屋外の防護対策設計と、
1:58:40	内数で屋外に対しては構造強度を確保します、もしくは離隔距離を確保 しますっていうのを言いながら、さらにその防護設計の一部として、
1:58:51	耐火塗装塗りみたいな遮熱板をつけて、機能を損なうようにしますみた いな繋がりになってるんで、ちょっと私が話して且つ区切っちゃったとこ ろが、おかしくなってる気がしますんで、
1:59:02	そういった繋がりはちゃんとできていると思ってますので、それが誤解が ないように整理させていただければと思う。
1:59:11	はい、迫です。整理をよろしくお願いします。
1:59:15	あと、
1:59:19	どんどん細かくなっちゃうので、
1:59:22	大枠だけにしますけど 10 ページ。
1:59:25	については、もう退職。
1:59:30	大気汚染というのがありますけど、
1:59:33	これ本当にこれ代表で全部説明し切れるの、他のものは同じってい えるっていうと、大分それぞれの分類ごとに、
1:59:44	表現するものは違うような気がしていて、
1:59:50	代表とは言わないまでも説明は要りますよねっていう気がしてます。

1:59:56	そこもって言われるかもしれないのでレーション言うと、もう建物にもありませんって、言われますけど摩耗はあるんですよね。ただ、
2:00:05	影響が出るようなものにはなりませんっていうことだと思うので、
2:00:09	そこらへんもんな。何、何でこうなのかっていうようなことだったかもしれませんから。はい。よろしくお願いします。不足も屋内の機器は腐食がないわけじゃなくて、
2:00:22	屋外機と不足説明同じですって言うかっていうと、
2:00:27	外表面と内表面での違いっていう意味だとちょっと違い得るんじゃないっていう気もしますのでそういった点の説明をちゃんとしてください。
2:00:35	はい、与儀です。
2:00:37	はい。承知いたしました。タダノ。
2:00:43	そうですね郷の建物みたいに、
2:00:45	ちょっと私としては、何を説明するんだろうと置いてるところは外したところもありますんで、そこも含めて全体整理させていただきます。はい。
2:00:56	はい、奥です。11 ページも同じ関係があるので、一通り見てもらえればと思いますが、恒設あ、ごめんなさい、降水、積雪について屋外機器が出てこないのは何ですか。
2:01:14	俺、生まれつき忘れた、違う。
2:01:20	はい、乳井西田でございます。もう一度確認をしていきます。前回作った添付 1 では 2 ゴトウいなかった気がするんで、
2:01:29	本当になくていいのっていうのは、整理が必要ですね。はい。特に積雪は外にいやあ、関連何か影響受けそうな気もするのではい。
2:01:38	こちらの整理不足っていうか抽出不足な可能性もありますんで。はい。ちょっと整理させてください。
2:01:44	基本の火山、それから積雪そうですね構造強度のところは火山で見ますって言うてるカガワに飛ばしてて、
2:01:53	積雪工作ですそれもマルをつけた上で一緒に説明しますってやってここでは見ませんじゃないと思うんですよね。
2:02:03	はい。
2:02:04	ちょっとそうですね。業績方針での飛ばし合いも含めてあれば、その中で合わせて積雪についての考慮も説明しますということが前提でやっているんで、はい。
2:02:15	そういった誤解がないようにも整理させていただければと思います。
2:02:19	休憩の話だけ書いてある。
2:02:27	はい。コサクですっていうのもうやはりそこでちゃんと合わせて説明するっていう意思表示を、

2:02:33	設定のところ、親って書くのではなくてマーキングでしっかりと意思表示をするっていうのは大事かなと思いますし、次どういうふうな整理の仕方をするかにもよりますけど、確実に説明ができる。
2:02:47	していただければと思います。
2:02:51	ここまで結構細かくも話しましたが、今後どういうふうに整理していきますか。
2:02:57	はい。与儀ニシダでございます。はい。
2:03:00	最終的には資料3での代表までを決めないといけないんですけど、全体後かな。
2:03:09	どう進めか考えます。インダをした状態で、
2:03:15	もう一度話をさせていただかないとまたここずれそうな気もするので、はい。
2:03:23	ちょっと。
2:03:24	考えます。年明け含めてどうするか。はい。全体の作業にももろにきいてくるので、スタート。
2:03:32	なので、はい。
2:03:33	ちょっと整理させてください。はい。
2:03:38	はい。補足です。グループに移行も含めてということで、先ほどガイドに入れるっていうことでしたから、その案という形の提示いただくんだろうなと思いますし、
2:03:49	直近のグループ1でどうしていくのかというところでの検討途中のもの。
2:03:57	なのか、結果なのかわかりませんが、何らかのアウトプットを見せていただきつつ、最終的には資料3の目次あたり、
2:04:07	だったり、こういった説明を、こういうアイテムで説明していきたいこのす。
2:04:13	説明項目についてはこれで代表できると思いますみたいなことが見えるようになってきて、資料3の全体セットとしてこういう構成でいきたいと、というようなことが見れたらいいかなと思い
2:04:27	はい、二本木西原でございますはい、承知いたしました。
2:04:40	900
2:04:42	こんなにあった。
2:04:46	うん。うん。
2:04:47	そんな形です。
2:04:48	はい。
2:04:58	コサクですと注意しましたが、今回提示されている、資料3って再処理廃棄物管理は何か条文ごとに作っているようなんですけど、

2:05:10	MOXではそうはせず一体として整理をしたのに何でこうなっているんだと、今後見直されるのかといったところは、
2:05:17	はい。
2:05:18	ございます。まずは今後見直すことで、
2:05:23	条文、
2:05:24	の関係性も含めて、資料3の①番に整理をしてい②ですね特に整理していくっていうのが、下りというしたやり方だと思ってますのでその形にしていっつもりです。
2:05:40	はい、わかりました。
2:05:42	先ほどの代表。
2:05:44	を踏まえてどういう構成でいくかだったり、
2:05:47	ということ等の説明とあわせて
2:05:51	整理状況がまた聞ければと思いますのでよろしくお願いします。
2:06:01	はい。
2:06:02	では、
2:06:04	当時、
2:06:06	ますので、
2:06:07	議会はどうすんですか。
2:06:09	でやってますか
2:06:11	ちゃんとそういうことです。
2:06:17	はい。
2:06:18	富井上西様でございますはい。今日、進め方もそうですそのあとに話をさせて、代表の話をちゃんとまず決めてですね、その全体で審査会合のアイテムも含めて、
2:06:32	整理が決まってくると思うんで、その作業を進めて、全体、
2:06:36	年明けどうやってガイドで示すのかクアッドアウトプットとして説明グループ1の状況を説明するのかというのも含めて整理をして、スケジュール等々に反映させていただきたいと。
2:06:50	耐専側でございます。都丸さん、坂モデルの策定の方針に係る説明という②までのas-isの整備がきっちり済んでからというアノニシカワ手元にちゃんとそこは他にないような、
2:07:02	記載で、お互いのを言ってるような資料の記載を今後ちょっと改めたというふうに思っております。それからこのですね今回行きからDBといったような当センターですねちょっとこの書き方、
2:07:17	ちょっとわかりやすくやらせていただきたいと思います。ちょっとすいません、最後に、

2:07:22	お話したんですけどもスケジュールのところの提出資料としても 08 のところのスケジュールを入れさせていただいておりますけども、この資料提出のときには、これまでのコメントの、
2:07:32	1 にも、一緒にご提示する必要があると思っておりますので、ちょっとまたその資料は、共通のタイトルだとか、現場なんかも追加した形でお願いしようと思っております。
2:07:44	補足でございます。以上でございます。
2:07:49	本日について、
2:07:55	例えば、